

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	05	みやまえ太鼓ミーティング開催事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		宮前区役所まちづくり推進部地域振興課			加藤	65354

## 事業の概要

事業の概要	地域の魅力である文化・伝統の再認識と民族芸能等を活用した地域コミュニティの促進を目的に、区内の太鼓演奏団体を一堂に会した「響け！みやまえ太鼓ミーティング」を継続開催します。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
	平成12年度	—						
地域の課題と現状	宮前区は近年開発等により発展し、また、屋間人口が少なく、地域のつながりが希薄となっていることを第1期区民会議においても指摘され、宮前区の特徴を活かした、人と人をつなげるコミュニティを形成していくことと、地域の文化・伝統の継承について課題となっているため。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,959	1,780	1,836	1,623	1,823		
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財								
一般財源	1,959	1,780	1,836	1,623	1,823			

## 計画 (Plan)

事業の目的	地域の魅力である文化・伝統を再認識し、民族芸能等を活用した地域コミュニティの促進に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民主体のイベントとすることで、区民や団体、地域間の交流を促進し、地域の一体感を図ります。</li> <li>●区内の中学校や保育園等にも協力してもらうことで、伝統文化の継承を促進します。</li> <li>●ゲスト出演者を招くことによるイベントの活性化と、ワークショップの開催による団体のスキルアップを図ります。</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	・区内11太鼓団体の参加と保育園・中学校等の協力 ・ワークショップを2回開催 ・「第18回 響け！みやまえ太鼓ミーティング」の来場者は1,000人と目標を下回ったが、開催当日の天候不良を考慮すると十分に効果があったと考えます。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	成果指標 来場者数	目標		1,500		人
			実績	1,500	1,000		
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区民を主体とした文化・伝統芸能、民族芸能等の保存と継承には、市民活動団体相互の交流の支援と促進・情報の共有と活動場所の提供等の支援等が必要となっています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	伝統文化の創造・継承として、太鼓ミーティングから発生した楽曲「トキメキみやまえ」の継承に取り組んでいます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	体験コーナーの参加者が多いことや、中学校の参加意欲等、伝統文化に触れるニーズや興味は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ホールの混雑状況と、天候の悪い中での開催を考慮しても平年以上であると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	引き続き役割分担の見直しを交渉します。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	・伝統芸能に関する区内唯一のイベントであり、宮前区の夏の風物詩として定着しつつあることから継続して開催したいと考えます。 ・太鼓だけではなく、区内に伝わる民俗芸能の紹介の場となっており、地域や学校等との連携強化を図り、更に地域と密着したイベントとしたいと考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	10	地域の魅力発信事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		吉川・内田	65354	

## 事業の概要

事業の概要	●宮前区には「歴史的遺産」や「農」といった地域資源が数多く存在するものの、区民に知られていないことから、それらの隠れた魅力に関する情報の収集・整理と、ウォーキングイベントの実施やマップ作成といった形で効果的な発信を行い、宮前区の魅力を再発見し、区への関心や愛着心を深め、シビック・プライドの醸成につなげる。							
実施期間	事業開始年度	平成20年度	事業終了年度	—	予算中事業	地域資源活用事業費		
地域の課題と現状	●当事業により、宮前区の魅力を再発見、区への関心や愛着心を深め、シビック・プライドの醸成に寄与している。また、多様な人材に地域づくり・まちづくりに対する参画を促すことが期待できる。安全確認上の問題等もあり、参加人数を絞っているため、一部参加をお断りするケースも散見している。運用については、今後も持続可能なより良い方法を検討していく必要がある。 ●昼夜間人口比率の低い宮前区において、区民は、区外を日常の生活圏としており、地域をよく知らない区民が多いと考えられるため、地域の魅力を再認識し、共有することが必要となっている。 ●第2期区民会議においても、宮前区は歴史文化、自然、都市農業、市民活動等の魅力的な資源は多いが、区民に知られていないことが課題とされている。							
予決算 (単位:千円)	年度		H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		1,540	1,522	750	721	1,094	
財源内訳	国庫支出金							
	市債							
	その他特財							
	一般財源	1,540	1,522	750	721	1,094		

## 計画 (Plan)

事業の目的	●ウォーキングイベントの実施やマップ作成といった形で効果的な発信を行い、宮前区の魅力を再発見し、区への関心や愛着心を深め、シビック・プライドの醸成につなげる。
今年度の事業の取組内容	●「宮前歴史ガイド」を活用した宮前区歴史文化調査委員会に実施委託 マップ作成、ウォーキング実施(年4回) ●「宮前区農産物直売所ガイド&マップ」を活用し、区内農家を巡り、説明や質疑応答を直接受けることによる農家巡りウォーキングイベントの開催(年2回)

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	●宮前歴史ガイドまち歩きマップ 改訂No.1(土橋).2(馬絹).4(野川) 新規No.11(御嶽道).12(鎌倉街道)各6,000部 計30,000部作成・配布。●歴史・農に係るウォーキングイベントを計6回開催するなど目標どおり実施しました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	宮前歴史ガイドを活用したウォーキングイベントの開催	目標	4		回
			実績	4	4		
	2	活動指標	農産物直売所マップを活用したウォーキングイベントの開催	目標	2		回
			実績	2	2		
3			目標				
		実績					
4			目標				
		実績					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	地域への愛着を深めるために、継続した情報の収集と整理、効果的な広報等の啓発活動の実施が必要となっています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
宮前区の歴史的遺産を把握し、新たに国史跡に指定された「橋樹官街遺跡群」を盛り込んだ「宮前歴史ガイド」(マップ)の改訂版を発行して、現状に即した啓発活動を推進しました。			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	都市農業と地場産野菜への関心、地場産野菜の大型販売センター設置(宮前区)など環境が変化しており、関心・ニーズが高まっていると考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	イベントへの参加希望者は多く、活動の成果は上がっていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	市民との協働事業として実施しており、役割分担、経費削減はほぼしつついると考えます。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	多くの区民に魅力を発信し、定着させるためには、異動区民も考慮し、引き続き実施していくことが必要と考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	15	みやまへの農コミュニティ活性化事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691750		生涯学習支援課		岡部	888-3911	

事業の概要									
事業の概要		区内産農産物を使ったグルメコンテストや交流会を開催することにより、生産者と消費者を結びコミュニティの活性化を図り、地産地消を促進します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業				
		平成25年度	—						
地域の課題と現状		宮前区は農業が盛んであるが、地場産農産物に触れる機会が少ないため、地場産農産物の魅力が十分には伝わっていません。そこで、地場産農産物を消費するきっかけ作りや農産物を通じた地域コミュニティの活性化を推進する必要があります。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		300	287	300	300	140	
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源		300	287	300	300	140			

計画 (Plan)	
事業の目的	宮前区の地場産農産物の地産地消の促進を目的とします。
今年度の事業の取組内容	料理コンテストの実施、地場産農産物を使った料理講習会、生産者と消費者の交流会を開催します。JA等との連携について、検討します。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・C級グルメコンテストには14作品の応募があり、12月13日に1次審査、1月21日に2次審査を行い、受賞作品を決定。 ・7月4日、10月29日、2月4日に宮前区産の農産物を使った料理講習会を開催。 ・3月9日にC級グルメフォーラムを開催。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	料理コンテストの応募点数	目標		10		点
			実績	8	14		
	2 成果指標	交流会の参加者数	目標		40		人
			実績	30	30		
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	宮前区は農業が盛んですが、地場産農産物に触れる機会が少ないため、地場産農産物の魅力が十分には伝わっていません。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 29 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	委員及び地域振興課と委員会のあり方について検討した結果、生産者と消費者などをつなぐ交流事業については、宮前区まちづくり協議会に移管します。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地産地消の推進や地域コミュニティの活性化は、引き続き重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各事業の参加者アンケートの結果は良好であり、成果が上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	宮前区まちづくり協議会の業務との一部重複が見られるため、整理・見直しを行います。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	地域振興課所管のまちづくり協議会に一部事業を移行するとともに、農に関する市民団体の自主的な活動を支援してまいります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	20	宮前区サイン整備計画事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		企画課		小西	65122	

事業の概要								
事業の概要		区内の既存サインについて老朽化や情報が古いなどの課題があることから、適正な管理や効果的な情報発信に繋げるため、報告書に基づき、適切な維持管理と必要に応じた修繕等を行います。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業			
		平成25年度	平成28年度					
地域の課題と現状		宮前区内にある、坂道紹介やお散歩マップ、駅案内板、公園マナー啓発、施設への誘導等、各種サインは設置から年数が経過し、所管が不明確、老朽化、情報の更新状況の把握不足等の課題が顕在化しており、現況の把握と適正な維持管理に向けた取組が必要となっている。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	158	158	72	135	0	0
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源						

計画 (Plan)	
事業の目的	区内既存サインの適切な維持管理と必要に応じた修繕等を目的とします。
今年度の事業の取組内容	平成26年度の調査結果をふまえた、各サイン所管課での必要に応じた修繕等の調整

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	小規模のサインを複数修繕することを想定していましたが、大きなサインについて緊急の修繕の必要が生じたため、複数基分の予算で1基の修繕を行いました。平成28年度については、修繕の必要のあったサインは1基のみであったので、ほぼ目標どおりとします。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	サインの修繕	目標		9	9	基
				実績	9	1	1	
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	提案を受けての取組みの方向性の確認後は、修繕は各所管の通常業務における対応としていく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 29 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	各サイン所管課での対応とするため、事業終了とします。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	事業に対するニーズは薄まっておらず、よりの確に対応していくためには各サイン所管課による整備が必要とされます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	修繕数は目標を下回ったが、緊急の修繕には対応したため、事業の成果は上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各サイン所管課で整備することにより、仕様の見直し等による経費削減等の改善の可能性がります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		Ⅲ	各サイン所管課での対応とするため、事業終了とします。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	25	宮前区スポーツ推進事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		齋藤	65360	

<b>事業の概要</b>								
事業の概要		健康を維持するために、区内スポーツ施設、川崎市または宮前区にゆかりのあるトップアスリートを活用し、スポーツ等を気軽に親しみ環境づくりをします。また、地域に根ざした総合型地域スポーツクラブへの理解と協力を促します。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業			
		平成22年度	—					
地域の課題と現状		区内スポーツ施設数が十分とは言えない中での、事業に参加した区民のスポーツや健康づくりの継続が課題です。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	2,493	2,388	2,400	2,329	2,349	
		財源内訳	国庫支出金					
			市債					
	その他特財	364	351	319	425	364		
	一般財源	2,129	2,037	2,081	1,904	1,985		

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	健康寿命延伸に向けた、子どもたちの体力向上、高齢者の健康づくりやコミュニケーションの場づくりをします。
今年度の事業の取組内容	フロントタウンさぎぬまとの連携事業、スポーツふれあい事業

<b>実施結果 (Do)</b>							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・フロントタウンさぎぬま連携事業43回実施 ・平成28年度12月18日 宮前ふれあいスポーツフェスティバルを開催						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	フロントタウンさぎぬま連携事業	目標	970	980		人
			実績	970	1,043		
	2 成果指標	宮前ふれあいスポーツフェスティバル	目標	521	530		人
			実績	521	556		
	3		目標				
			実績				
	4		目標				
			実績				

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、新たな課題に対応する必要があります。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	宮前ふれあいスポーツフェスティバルについて、仕様書を見直し、委託料を削減しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民がスポーツを行う機会を提供できており、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	宮前ふれあいスポーツフェスティバルの参加者の増加等、数値として現れていることから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	フロントタウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブとの連携を進めていきます。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	フロントタウンさぎぬま、総合型地域スポーツクラブと連携を図りながら事業を継続することが適切であると考えられます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	地域情報発信事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		古泉	65121	

## 事業の概要

事業の概要	地域への愛着や関心を高めるため、地域のイベントや伝統行事、様々な地域資源を盛り込んだ冊子等による情報発信を行います。さらに、ガイドマップを発行し、区内の主要施設・防災拠点等の基礎情報の周知と共に、区の魅力発信を行います。また、「宮前兄妹」(2012年度誕生)など区の魅力をアピールするイメージキャラクターや、町内会・自治会への回覧物の一括配送の仕組みを効果的に運用していきます。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業				
	—	—						
地域の課題と現状	地域社会における住民相互の関係が希薄化中、住民が地域に関心を持ち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、区民会議においてこの課題について議論・提案が行われた経過があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,522	3,183	3,421	3,127	5,285		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	
その他特財		48	120	120	410	80		
一般財源	3,474	3,063	3,301	2,717	5,205			

## 計画 (Plan)

事業の目的	地域資源を掘り起こし、その魅力を発信することで、区民の地域への愛着や関心を高め、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえガイドマップの改訂・発行、転入者向け冊子「ぐるっとみやまえ」の改訂・発行、回覧物一括配送、PRキャラクター(宮前兄妹)の貸出

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	ガイドマップの発行、区民が取材・執筆から関わる「ぐるっとみやまえ」の改訂・発行を行い区内の各施設へ配架したほか、来庁者の目にふれやすいよう、区役所内に区の刊行物をまとめたコーナーを作り、効果的な情報発信につとめました。また、区のPRキャラクターは、地域の様々なイベントで活用され、区民に浸透しています。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	目標				
		実績				
	2	目標				
		実績				
3	目標					
	実績					
4	目標					
	実績					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	インターネットが普及し、様々な情報媒体が存在する中で、効果的な情報発信のあり方を検討して行く必要があります。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 ■ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	様々な情報媒体があるなかで、情報発信のあり方を整理し、平成27年度末で「歳時記みやまえ」を廃止しました。今後も、既存の刊行物等について、効果的な情報発信のあり方を検討しつつ整理して行きます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民一人ひとりが地域への愛着・関心を持つことが、地域の様々な課題を解決して行く糸口となることから、地域の活動や魅力的な地域資源の情報を発信していく必要性は、ますます高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	刊行物の配架方法を見直した結果、手に取る区民が確実に増えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	広報媒体への広告募集・掲載を増やすことにより、さらなる歳入を得る可能性があります。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	様々な広報媒体を効果的に組み合わせて、今後とも情報発信に取り組んで行きます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	35	みやまえカルタ活用事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		麻賀	65358	

<b>事業の概要</b>									
事業の概要		第2期区民会議から提案され作成した「みやまえカルタ」の貸出、販売を推進し、地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとして活用していきます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業				
		平成22年度	—						
地域の課題と現状		都心のベッドタウンとして発展し、核家族化が進み、市外への通勤・通学者が多い宮前区では、地域への興味や愛着が薄れがちであるため、それぞれが日々暮らし過ごす地域を知ることにより、地域への関心や愛着を高めることが求められています。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		258	0	38	49	69	
		財 源 内 訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財	75		69	38	49	69			
		一般財源	183						

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱きかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。
今年度の事業の取組内容	地区カルタ、記念カルタの販売と貸出の広報活動の推進 区内で開催されるイベント等における販売活動やカルタ展示等による普及促進

<b>実施結果 (Do)</b>							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱きかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に広め、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとなるよう、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を推進しました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	みやまえカルタの販売と提供		目標	70	60	箱
				実績	69	49	
	2			目標			
				実績			
3			目標				
			実績				
4			目標				
			実績				

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域への愛着や関心が希薄となる傾向のある中で、区内外に誇れる資源を幅広い世代に伝えるとともに、情報発信を推進するためみやまえカルタの役割は将来に渡って重要なものとなっていきます。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	本年度から事業関係経費を削減し、販売に係る歳入予算額と同額の歳出需用費のみ予算化しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	幅広い世代へ宮前区の地域資源を継続して広めていく必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	カルタの販売は一定のニーズを保っており、イベント用には大型版の貸出も継続しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業経費を削減し歳入の範囲内での予算化を継続します。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	宮前区の魅力を引き出し、愛着を抱きかけ作りとして、「みやまえカルタ」を各地域に定着させ、区内外に誇れる宮前区の地域魅力発信のツールとするため、幅広い世代への啓発活動とカルタの販売・貸出を継続して推進していきます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	40	宮前区ふるさと意識高揚アーカイブ事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		企画課		松元	65121	

## 事業の概要

事業の概要	第4期宮前区区民会議において、人とのつながりや地域への帰属意識の希薄化、市民活動の認知度向上等が課題として議論され、各世代の文化や体験、記録を共有すること等を目標に、「区誕生40周年、市制100周年に向けたアーカイブ事業の実施」が提案されました。これを踏まえ、区役所内において検討を重ね、事業化するに至りました。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業				
	平成25年度	未定						
地域の課題と現状	様々な世代間交流の活動や社会的・文化的資産など地域資源に関する情報は、各団体等がバラバラに所有しており、包括的な収集・保存・活用は行われていません。放っておけば散逸の恐れがある地域資源の記録を世代間で保存・伝承して行く必要があります。また、まちの形成史を適切に把握・保存することは、今後のまちづくりに関する取り組みを行う上でも重要といえます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	67	44	180	61	180		
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		市債	0	0	0	0	0	
その他特財		0	0	0	0	0		
一般財源	67	44	180	61	180			

## 計画 (Plan)

事業の目的	世代間交流の活動を記録し、共有することで、世代間交流に対する参加意識の醸成をはかります。また、地域資源の記録を世代間で保存・伝承していくことで、宮前区へのふるさと意識を高めていきます。区誕生40周年、市制100周年を見据え、関係局等の動きも踏まえ事業の方向性を検討していきます。
今年度の事業の取組内容	「みやまえフォトコンテスト」の開催にあわせて、過去の写真の募集を区民に呼びかけ、効率的・効果的に収集を行います。引き続き、アーカイブに関する各局区の動向の把握に努めていきます。

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	事業展開方法を再検討し、効率的・効果的な収集・管理について方向性を確認しました。新たに、区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設し、資料の収集・公開を行いました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	成果指標 「みやまえデジタルミュージアム」アーカイブ写真館の掲載	目標		0	120	枚
			実績		111		
	2	成果指標 「みやまえデジタルミュージアム」イベントの歴史の掲載	目標		0	3	事業
			実績		1		
3	活動指標 区民の目に直接触れる機会の提供(展示等)	目標		0	1	回	
		実績		0			
4		目標					
		実績					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	市政100周年を見据えた全市民的な動きを考慮しながら、宮前区としての取り組みの方向性を検討していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	27年度は庁内で試行的に写真を収集し、当初28年度以降は区民からの写真の収集等を検討していましたが、効率的・効果的な事業実施のため、実施手法を見直しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域資源や地域活動を適切に記録し、世代間で保存・伝承していくことが求められています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	28年度新たに区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設し、資料・写真を公開しました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区ホームページ上に「みやまえデジタルミュージアム」を開設したことで、大幅なコスト負担なく、運用していくことができます。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「みやまえデジタルミュージアム」の公開資料・写真を充実させるとともに、今後は、実際に区民の目に直接触れる機会の提供等についても検討していきます。



# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	05	花と緑のあふれる住みよいまちづくり事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		内田	65354	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>	花壇を通じて、緑化活動団体の活動の活発化と、団体相互の交流を推進させるとともに、緑化活動団体の新規団体の立ち上げを支援することにより、区民による花と緑のあふれるまちづくり(緑化活動)、区内の緑化団体・公園管理団体の拡充を行います。							
<b>実施期間</b>	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費				
	平成23年度	—						
<b>地域の課題と現状</b>	現在、区内の公園においては自主管理団体(緑化活動団体)が個別に活動し、また、3割の公園においては、地域による自主管理がされていない状況にあり、第4期宮前区区民会議においても、公園を地域コミュニティの核として活用することが求められており、地域管理の促進とネットワーク化が必要となっている。							
<b>予決算</b> (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費	1,592	1,529	1,592	1,273	1,662	
		国庫支出金						
市債								
	一般財源	1,592	1,529	1,592	1,273	1,662		

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	区内緑化活動団体へ花苗の支援を行うとともに、新規緑化団体育成を行い、区内の緑化推進及びコミュニティの醸成を図ります。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内の公園・公有地内にある花壇を自主管理している緑化活動団体に花苗等を支援</li> <li>●新規緑化活動団体立ち上げ及び活動の支援</li> <li>●緑化活動団体の活動の活性化を図るため、緑化促進に関する講座等を開催</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
<b>取組内容の実績等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内の活動団体に対して花苗の提供(36団体あて、9,362株)を行いました。</li> <li>●公園等を管理する団体の設立支援も行い、団体数の増加につながり、区のイメージアップと公園の地域管理の推進を進めることができました。</li> </ul>					
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<b>指標分類</b>	<b>指標</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>単位</b>
	1 活動指標	花苗等の支援を行っている緑化活動団体数	目標	32		団体
			実績	31	36	
	2		目標			
			実績			
3		目標				
		実績				
4		目標				
		実績				

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	都市化が進み緑が失われていくなか、区民に緑化意識を醸成するため、花壇管理団体と土地所管の関係局との橋渡し、花苗の支援や花壇管理の講演会等を行ない、緑化活動団体の活性化を進めることが必要となっています。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成29年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	自主管理団体(緑化活動団体)がない公園において、地域管理の促進のため、新規団体育成の取組みを始めています。また、地域管理を目的に、花壇作成をきっかけとした、新規団体作りについては、対象公園の減少から見直しに着手します。		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	地域で活動を行なう市民活動団体は、財政基盤が弱いため、自主管理を進める上でも必要性は高いと考えます。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	対象団体も増加しており、地域管理と緑化が推進し、イメージアップにつながっていると考えます。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>a</b>
	評価の理由	経費削減と事務手続きの見直しは十分に進めていますが、更に検討を進めます。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	<b>I</b>	今後も継続した、公園の地域管理と緑化、活動団体の活性化によるコミュニティの形成のため、継続は必要と考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	10	まちづくり推進事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		吉川	65354	

## 事業の概要

事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成8年度に策定された宮前区づくりプランを実現し、区民主体のまちづくりを推進するため、公募区民及び学識経験者、各種団体推薦委員、企業推薦委員で構成される宮前区まちづくり協議会との協働によるまちづくりを推進する。</li> <li>●中間支援機能を持つ組織として、市民活動団体を情報面、資金面等から支援するとともに、団体間の交流や連携を促進し、地域の活性化を図る。</li> <li>●まちづくり協議会自らも地域の課題解決に向けた取り組みを行い、快適で住みよいまちづくりを推進していく。</li> </ul>							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費			
		平成9年度	—						
地域の課題と現状		<ul style="list-style-type: none"> <li>●まちづくり協議会の持つ中間支援機能により、地域で活動する市民活動団体等のネットワーク化を推進し、市民活動の活性化や地域の人材育成を図ることができている。また、地域が抱える課題解決にも取組むことにより、区民主体のまちづくりを推進することができ、行政と協働のまちづくりに寄与している。</li> <li>●課題として、構成委員の高齢化による世代交代と後継者育成が急務である。</li> </ul>							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	3,866	3,763	3,520	3,363	3,763		
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	3,866	3,763	3,520	3,363	3,763		

## 計画 (Plan)

事業の目的	●宮前区まちづくり協議会に実施委託及び補助金の助成。市民活動団体の活性化や地域のまちづくり推進を区民主体の組織で推進する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動の活性化を図るため、行政と連携・協働した事業の展開を行う。</li> <li>●区役所主催事業等への参画により市民との協働のまちづくりを推進する。</li> <li>●地域に対する意識向上や魅力発見、まちづくりへの理解を深めるため、各種イベントを開催する。</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●18の市民活動団体の育成を目的とした資金支援を実施しました。</li> <li>●まちづくり広報紙の全10回の発行しました。</li> <li>●スキルアップ研修の実施(2回)と団体間の交流の場の提供(3回)による活動の活性化等を図りました。</li> </ul>					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	広報紙「まちづくり広場」の発行	目標 実績	12 10		回
	2		目標 実績			
	3		目標 実績			
	4		目標 実績			

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	団体事務の適正化		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業を一部見直し、補助金を設置</li> <li>・組織と事業の見直しを行い、広報紙の内容と発行回数を検討しました。</li> </ul>		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	情報発信や資金力が弱いため、これまで通り市民活動団体の中間支援は必要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新たな市民活動団体は生まれ、地域課題の解決につながる活動を行なっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	団体組織の改革に併せて、事業の見直しも検討課題としており、事務・経費支出の改善につながる可能性はあります。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	
今後も市民活動にかかる場・情報(メディア)等の環境の変化に合わせた支援を実施することが必要と考えます。			

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	15	まちづくり支援事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		吉川	65354	

## 事業の概要

事業の概要	●市民との協働のまちづくりを円滑で効果的に推進していく上で、まちづくり専門家としての見地や、活動に関する提案、助言及び情報提供等を行っていくことが必要不可欠であり、また、個別の市民活動団体の相談、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等を行うためコンサルティング業務を委託し、宮前区まちづくり協議会の活動を支援するもの。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業費				
	平成20年度	—						
地域の課題と現状	●まちづくり協議会が適正かつ円滑な組織運営や会議進行等のための助言・提案等を受けることで、区民主体のまちづくりの推進につなげることができている。また、市民活動団体に対し、活動資金や活動場所のほか、情報発信や交流促進、後継者育成等の課題解決に役立つ情報やアドバイスを専門的見地から提供することができている。 ●まちづくり協議会の委員の構成、年齢、経験等のほか、協議会活動の継続性、まちづくりに係る状況変化等に応じた適切なコンサルティングが引き続き求められる。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	2,866	2,829	2,850	2,843	3,032		
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財								
一般財源	2,866	2,829	2,850	2,843	3,032			

## 計画 (Plan)

事業の目的	●市民活動団体の相談、活動を発展させる情報、ノウハウの提供等を行うためコンサルティング業務を委託し、宮前区まちづくり協議会の活動を支援する。
今年度の事業の取組内容	●まちづくり協議会へのコンサルティング ●協議会会議等の運営支援

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	年間約60回の会議に参画し、企画支援、活性化のためのノウハウ・資料の提供、行政への助言の他、チラシ、ポスター作成支援等、まちづくり協議会の活動の活性化につながる支援を行いました。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1		目標			
			実績			
	2		目標			
			実績			
3		目標				
		実績				
4		目標				
		実績				

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	中間支援組織としての「まちづくり協議会」の活動と、市民活動団体個々の活動促進のために、高度なノウハウと情報が必要となっています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 23 年度 ■ 今後実施(平成29年度から) まちづくりに関わる活動の内、コンサルティングが関わる活動を圧縮して経費削減に努めました。 また、コンサルティングの費用圧縮に向け、組織の変更等を検討していきます。		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多様な市民活動団体に相対した支援策も絶えず変化しており、活動の活性化には、専門家による支援のニーズは高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	社会環境の変化にあわせた支援を行っていると考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	組織変更などにあわせた経費の圧縮に向けて検討を進めてまいります。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	まちづくり協議会の組織運営や会議進行等のための助言・提案等を得ることで地域の活動の活性化につながっていると考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	20	みやまえスポーツふえすていばる開催事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		半田	65351	

<b>事業の概要</b>									
<b>事業の概要</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域で行われているソフトボールやバレーボールやドッジビー等のスポーツ大会を企画し、実施することで競技レベルの向上を図るとともに、チームを越えた区民同士の親睦の場を創出していきます。</li> <li>●地域スポーツを促進し、区民がスポーツに触れる機会の拡充を図るために、自主的に行われているスポーツ大会を区長賞の贈呈により支援していきます。</li> </ul>							
<b>実施期間</b>		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業				
		平成3年度	—						
<b>地域の課題と現状</b>		地域で支えあうまちづくりは、行政や地域にとっても大切ですが、区民同士が知り合いになる機会が不足しているため、スポーツを通じて、区民同士が交流できる機会を創出し、地域の活性化やコミュニティを形成していく必要があります。							
<b>予決算</b> (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		<b>事業費</b>		2,017	1,985	2,017	1,856	2,017	
		<b>財源内訳</b>	国庫支出金						
			市債						
		一般財源	2,017	1,985	2,017	1,856	2,017		

<b>計画 (Plan)</b>	
<b>事業の目的</b>	スポーツに親しみ、楽しむことは、体を動かすことによる爽快感だけでなく、健康・体力の維持増進や人と人との地域における一体感をもたらす効果を期待することができます。地域でのスポーツ大会を地域が主体的に企画・運営することで、スポーツを通して区民同士が交流を深めスポーツ等に親しむ機会をつくり、地域コミュニティの活性化を図ります。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	女子バレーボール大会(宮前地区・向丘地区)、ソフトボール大会(宮前地区・向丘地区)、ドッジビー大会(宮前地区・向丘地区)、歩こう会(宮前地区・向丘地区)、ディスカバーウォークみやまえ(宮前地区・向丘地区)、ジュニアフットサル大会、区長賞贈呈

<b>実施結果 (Do)</b>										
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
<b>取組内容の実績等</b>		目標どおり達成できました。今年度は、宮前区女子バレーボール大会、宮前地区ソフトボール大会が、雨天等の理由により中止となっているため、全体の参加者数が下がっています。								
<b>数値で把握することが可能な取組</b>		<b>指標分類</b>		<b>指標</b>		H27年度	H28年度	H29年度	単位	
		1	成果指標	全参加者	目標		1,589			人
					実績	1,589	1,343			
		2			目標					
					実績					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

<b>評価 (Check)</b>							
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		子どもが外で遊ぶ機会の減少。					
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)					
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		宮前地区の新規大会として小学生向けドッジビー大会を開催しました。					
<b>評価項目</b>				<b>評価</b>			
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている		a	
	評価の理由			地域コミュニティの希薄化が年々進んでいるため、ニーズは高いと考えられます。			
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない		a	
	評価の理由			各大会等でのアンケート調査で、高い評価をいただいているため、成果があったと考えられます。			
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。			a. 可能性はない b. 可能性はある		a	
	評価の理由			委託団体と協議を行い、社会環境の変化に対応したスポーツ大会等を企画していきます。			

<b>改善 (Action)</b>							
<b>今後の事業の方向性</b>		<b>方向性区分</b>		<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>		
		I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了		II	近年フットサルは、認知度が高くなっており、自主的に開催される大会も増加しています。それとは対照的に、ドッジビーの認知度は低く、自主的に大会を開催する事が困難となっています。このことから、来年度は宮前区ジュニアフットサル大会を廃止し、参加者数が年々増加している、両地区ドッジビー大会の区大会を新規開催する予定です。		

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	25	多様な主体が参画する子どもあそびランド事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691750		生涯学習支援課		川口	888-3911	

事業の概要								
事業の概要		遊びを通じて子どもと中高生・シニアなど世代間や多様な市民の交流を図るため、「夏休み子どもあそびランド」を実施します。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業			
		平成23年度	—					
地域の課題と現状		多様化する地域課題の解決に向けて、地域活動(まちづくり)と比較的疎遠であった中高生や外国人市民に遊びをキーワードにした世代間交流、多文化交流の場を提供することにより、多様な主体による活性化した地域コミュニティを創造する必要があります。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	500	500	500	500	500	
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	500	500	500	500	500	

計画 (Plan)	
事業の目的	小学生・中学生・高校生・大学生・成人・高齢者・外国人・障がい者といった多様な主体同士が交流する場の提供を目的とします。
今年度の事業の取組内容	イベントは、多様な世代が集まりやすい夏休みの最後の日曜日に市民館全館を使って開催し、日本に古くからある遊びや氷を使った氷山、カンパジづくり、舞台での活動発表などの遊びや表現などを通して、世代間の交流を行います。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・8月21日に開催、約3,000人が来場 ・4月24日、5月22日、6月22日、8月3日、10月13日の計5回企画委員会を開催したほか、準備作業を複数回行いました。 ・サポーター養成講座を8月9日、10日、16日、17日の計4回開催						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	来場者数	目標	3,000	3,000		人
			実績	3,000	3,000		
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	・より幅広い年代の方々への企画委員、中高生・青年層のサポーターとしての参画が課題となります。 ・多彩な遊びを提供できる遊びの達人の発掘、養成。達人の高齢化・固定化が進んでいるため、遊びを継承できる新たな達人の養成が必要です。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	舞台部門に中高校生の企画・運営を取り入れ、より多様な世代が交流できる催しとしました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多様な世代・立場の市民が地域で交流することは、引き続き重要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	学生ボランティアのサポーターを新規に集めることで、新たな交流を生み出しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	企画運営委員会に委託をする現在の方式が、区内の多様な人材の参加を得る上で望ましいと考えます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	引き続き、多様な主体が交流できるよう内容や方法を工夫しながら事業を継続します。また、交流を広げるために、企画運営委員や遊びの達人、サポーターの新たな人材を募集してまいります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	30	地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691750		生涯学習支援課		岡部	888-3911	

事業の概要									
事業の概要		地域人材の育成と活用を進めるため、地域人材育成指針の策定に基づき、区役所各課が連携したモデル事業を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化推進事業				
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		区の事業実施に必要な人材や市民活動の担い手が確保できていないほか、地域への広がりや薄さがあるため、講座等を通じて育成した人材を実際の活動につなげる必要があります。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		281	202	308	135	200	
		財源内訳		国庫支出金		市債		その他特財	
				281	202	308	135	200	

計画 (Plan)	
事業の目的	行政が市民と協働で実施するため、地域で活動する人材を育成することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	公園を会場として、樹木の基礎知識や剪定、公園のあり方や管理方法などを講習項目とします。

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・道路公園センターと協働し、11月5日、12日、18日、22日、23日、12月3日、10日、17日の計8日間で、「地域の公園魅力アップセミナー」を開催。座学の他、4つの講演における実地講習も行い、人材育成と公園の魅力発信に貢献しました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	講座実施数	目標	1		回
				実績	1	1	
	2			目標			
				実績			
3			目標				
			実績				
4			目標				
			実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	宮前区内では、地域が主体となった公園管理は209公園中140公園であり、既存の公園管理団体(公園愛護会、公園管理運営協議会)では、人材の高齢化、固定化が進んでいます。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	毎年度、様々な地域活動の中から事業内容を検討しています。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民協働に向けた地域の人材育成は、今後もますます重要となります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	実技講習や、活動中の団体による講義など実践的な内容とし、より事業趣旨に合わせたものとなりました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	地域の人材育成に向けた有効な手段について、今後も検討していく必要があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	関係機関と連携・協議しながら、引き続き事業を継続してまいります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	35	市民活動支援拠点のネットワーク事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		内田	65354	

<b>事業の概要</b>									
<b>事業の概要</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動の活性化のため、区役所、市民館及び子ども文化センター等の市民活動拠点の周知や活用促進を図るとともに、施設や機能面等での充実を図る。</li> <li>●市民活動拠点を中心とした地域のコミュニティづくりを推進するとともに、市民活動団体の活動支援や団体相互の交流促進を図るため、区民活動支援コーナー等の運営支援を行う。</li> </ul>							
<b>実施期間</b>		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業費			
		平成22年度	—						
<b>地域の課題と現状</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動拠点の周知や活用促進や、施設・機能の充実を図ることで、活動の活性化や地域のコミュニティづくりを推進することに寄与している。</li> <li>●各支援コーナーの利用率が横ばい傾向にあり、今後利用率向上について検討する必要がある。</li> </ul>							
<b>予決算</b> (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		1,073	995	566	554	571	
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源		1,073	995	566	554	571			

<b>計画 (Plan)</b>	
<b>事業の目的</b>	●市民活動の活性化のため、市民活動拠点の運営支援・情報発信を推進する。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民活動支援コーナー等の運営支援(印刷機器賃借料支出)</li> <li>●区民活動支援コーナー利用率向上に向けての検討</li> </ul>

<b>実施結果 (Do)</b>									
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
<b>取組内容の実績等</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民活動の活性化のため、市民活動拠点機能を確保しました。</li> <li>●ニーズを把握するため、登録団体あてアンケートを実施しました。</li> </ul>							
<b>数値で把握することが可能な取組</b>		指標分類		指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
		1				目標			
						実績			
		2				目標			
						実績			
				目標					
				実績					
				目標					
				実績					

<b>評価 (Check)</b>			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		市民活動の活性化に必要な活動場所の提供と、活動団体相互の交流促進にかかる情報共有等の支援を行うことが必要となっています。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		活動団体の相互促進と地域住民との交流等を目的に、団体情報の中から活動団体の種別を絞り「花壇づくりの仲間マップ」を発行しました。	
		<b>評価項目</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各支援コーナーの利用団体は多く、ニーズは高いと考えます。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各支援コーナー会議室、印刷機の利用団体は多く、市民活動の活性化につながっていると考えます。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	市民活動の活性化に必要な支援について、今後も検討してまいります。	

<b>改善 (Action)</b>			
<b>今後の事業の方向性</b>	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	市民活動の活性化には、各団体の活動資本の確保は必須であるため今後も継続する必要があると考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	40	みんなの道路公園事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			696100		宮前区役所道路公園センター			窪井直樹	75560

事業の概要								
事業の概要		公園を活用した地域コミュニティの活性化を図るとともに、協働による公園の維持管理の推進及び協働の担い手となる次世代の育成を図ります。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業			
		—	—					
地域の課題と現状		将来の公園や緑地での市民協働を担う子どもたちを育成していく必要があります。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳		事業費			330	41	327	
		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源			330	41	327	

計画 (Plan)	
事業の目的	公園を身近なコミュニティの場として活用します。
今年度の事業の取組内容	区民との協働による公園等の清掃活動を行うとともに、市民館が実施する「地域活動の促進に向けた人材育成及び推進体制の整備事業」と連携して、区民と協働して公園内の樹木に「名札」の設置を行います。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	目標どおり達成しました。 ・2月12日 「樹木の名札づくり」を宮前美しの森公園で開催 31名参加 ・6箇所の公園等で区民協働による清掃活動を実施 30名参加							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	「樹木の名札」取り付け参加者	目標			20		人
			実績			31		
	2 成果指標	区民協働による清掃活動参加者	目標			30		人
			実績			30		
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域が主体となった公園管理など、身近な課題について、区民の参加と協働による解決の推進が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 30 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成28年度新規事業		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園に係る区民の参加と協働の担い手の育成には、継続的な取り組みが必要と考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標とする人数の参加があり、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	事業の実績等を踏まえ、事務改善も含め事業の有効性等の検証を行います。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	平成28年度の新規事業であり、次年度は継続して取り組み、実績等を踏まえ、事務改善等も含め事業の有効性等の検証を行います。



# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	45	町内会・自治会加入促進事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		まちづくり推進部 地域振興課		田添	65351	

事業の概要							
事業の概要	各町内会・自治会のエリアを調査し、エリア図データを作成。それをホームページで公開し、自分の住んでいる地域の町会が分からないために、どうしても良いかわからない方や、町内会・自治会の存在を知らない方、転入予定者、不動産業者の方などに見てもらい、地域振興課へ加入相談の連絡をいただけるよう広報機能を強化する。エリア図データ作成にあたっては、庁内の川崎市統合型地図情報システムで利用できるようにデータを作成し、他部署ともエリア情報を共有して事業に活用してもらう。また、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「町内会・自治会ガイドブック」を作成して配布し、加入促進につなげる。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業		
	平成28年度	-					
地域の課題と現状	町内会・自治会は、地域のコミュニティ形成における中心的役割を担っており、また、高齢者や子どもの見守り、自主防災組織の設立・運営など、安心・安全なまちづくりを推進していく上で、非常に重要な役割を担っていただいています。しかしながら、近年、町内会・自治会を運営する役員の高齢化や、なり手不足が深刻化してきており、また、町内会・自治会に加入しない人たちの割合も増えていることから、地域コミュニティの衰退も危惧されています。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	0	0	1,000	994	264	
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源		1,000	994	264	

計画 (Plan)	
事業の目的	地域コミュニティの活性化により、区民の誰もが心豊かに安全・安心な生活を送れるようにします。
今年度の事業の取組内容	各町内会・自治会のエリアを調査してエリア図データを作成します。エリア図データ作成にあたっては、庁内の川崎市統合型地図情報システムで利用できるようにデータを作成し、他部署ともエリア情報を共有します。また、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「町内会・自治会ガイドブック」を作成して町内会・自治会へ配布します。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	各町内会・自治会のエリアを調査し、エリア図データを作成しました。また、庁内の地図情報システムで町内会・自治会エリアのデータを共有して活用するとともに、町内会・自治会の役割やエリア図を掲載した「町内会・自治会ガイドブック」を作成して町内会・自治会へ配布し、町内会・自治会加入促進の支援を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	町内会・自治会ガイドブックの作成	目標		2,000	3,000	部	
			実績					
	2 成果指標	町内会・自治会エリアデータの作成	目標		68	-	エリア	
			実績					
	3		目標					
			実績					
	4		目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	少子高齢化が進む中で、地域での助け合い、支え合いは大切なものであると改めて見直されてきており、地域コミュニティの中核を担っている町内会・自治会の重要性も増えています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
	平成28年度新規事業		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	川崎市では地域包括ケアシステムを推進しており、少子高齢化が進む中で、地域での助け合い、支え合いは大切なものであると改めて見直されてきている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	近隣の方との距離を置き、プライバシーを重視する考えの方が多数いる中で、全宮前区民のうち、6割を超える世帯の方が町内会・自治会に加入している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	引き続き、町内会・自治会と連携しながら加入促進に努めてまいります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
町内会・自治会エリアの確認やデータの作成は平成28年度に終了したため、今後は「町内会・自治会ガイドブック」を町内会・自治会を通じて新規転入者などに配布してもらい、町内会・自治会加入の支援を行ってまいります。		

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	10	50	区民祭開催経費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		総務課			荒川	65111

<b>事業の概要</b>							
事業の概要		地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育てていくため、誰もが気軽に参加できる、区民の手づくりによる区民祭を開催します。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業		
		昭和57年度	—				
地域の課題と現状		区内の急速な宅地開発や都心部のペットタウン化が進む中、人と人のつながりや地域への関心が希薄になってきています。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	287	287	273	273	265
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	287	287	273	273	265

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	区民祭の開催を通して、地域や各種団体、世代間の交流促進や地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域への関心や愛着を育てていきます。
今年度の事業の取組内容	区民がより親近感や達成感を感じることができる区民祭の実施に向けて、区民と区役所との協働により取り組みます。

<b>実施結果 (Do)</b>								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・10月26日、宮前区役所周辺で区民祭を開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	開催回数	目標		1	1	回
				実績	1	1		
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化			
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 26 年度 □ 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		平成26年度から、会場を北部市場から宮前区役所及び宮前市民館に移して開催しています。	
		評価項目	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民祭の参加や開催日時に関する問合せは多くあり、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民祭に多くの団体・個人が参加するとともに、来場者に区の魅力を発信することができることから成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	今後の開催会場の検討も含め、区民と協働して、より良い区民祭の開催に向け取り組んでいきます。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	区民に定着しており、継続開催が望ましいと考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	05	健康づくり支援事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		地区支援担当		吉田 綾子	65521	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>		平成20年度、公園体操マップ作成検討会を立ち上げ、平成21年度に区民と協働し公園体操マップを三千部作成。 平成25年度 公園体操マップを三千部作成。 平成28年度 公園体操の普及啓発のため、区民と協働した公園体操マップを発行します。グループ数が増加しているため、またより公園体操マップを活用してもらいやすくするために、現行のレイアウト・デザインを全面的に改定します。尚、27年度は、健康情報誌を作成しています。											
<b>実施期間</b>		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域の輪・健康づくり支援事業					
<b>地域の課題と現状</b>		宮前区は高齢化の伸び率が高く、介護保険の利用者も年々増加しています。高齢者世帯・単身高齢者世帯も増加しています。山坂が多いため外出の機会が持ちにくく、若い世代を含め知己の人たちの交流の機会も減ってきてます。また、宮前区は転出入が多く、近年息子娘世帯に越してきた地域とのつながりのない高齢者の閉じこもりが増えてきていることが想定されます。											
<b>予決算</b> (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度					
				予算額		決算額		予算額		決算額			
		事業費						330		255		300	
		財源内訳		国庫支出金									
				市債									
一般財源		359		233		330		255		300			

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	身近な地域での住民同士の交流と健康づくりの一環として、「公園体操」の普及啓発を行う。普及啓発のツールの一つとして、「公園体操マップ」を作成、配布する。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	従来の6Pの公園体操マップから8Pにレイアウト・デザインのレイアウト変更を行い、作成・配布する。

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
<b>取組内容の実績等</b>	目標どおり達成できました。 活動グループに活動内容の更新と子育て関連情報を追加したマップを作成。 12月末に「公園体操マップ」が納品され、関係各所に配布。							
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	指標分類		指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	成果指標	公園体操マップの作成	目標		3,000		部
				実績		3,000		
	2			目標				
				実績				
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	平成28年度より区役所にのみまもり支援センターができ、住民が住み慣れた地域でいつまでも健康に過ごすことができるように、健康づくりに関する情報提供や住民との協働による啓発活動などにより、地域包括ケアシステムを推進します。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	今後も身近な地域での住民同士の交流の推進と、健康づくり活動の一環として、取り組みを推進する必要がある。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標数の公園体操マップを作成することができた。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	業者選定により金額が決まる。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	
今後も地域ケア推進のため、身近な地域での住民同士の交流の推進と、健康づくり活動の一環として、取り組みを推進する必要がある。			

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	10	地域包括ケアシステム推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695000		保健福祉センター地域ケア推進担当			吉留	65512

事業の概要							
<b>事業の概要</b>	地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体の取組とともに、主体間の緊密な連携し、区役所組織機構でも、地域内の多様な主体と協働する取組を推進することが必要です。多様な主体と連携・情報共有しながら、地域包括ケアシステムを構築していきます。						
<b>実施期間</b>	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域の輪・健康づくり事業			
	平成27年度	—					
<b>地域の課題と現状</b>	地域包括ケアシステムの推進にあたり、区民や区役所職員の意識づくりと、関係団体の連携強化が必要となります。						
<b>予決算</b> (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		859	2,315	1,936	3,286	
	財源内訳	国庫支出金					
	市債						
	その他特財						
	一般財源		859	2,315	1,936	3,286	

計画 (Plan)	
<b>事業の目的</b>	地域包括ケアシステムの推進に向けて、区民や区役所職員の意識醸成と関係団体の連携強化を図ります。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	地域包括ケアシステムの推進に向けて、宮前区内で2箇所地区を選定の上、地域包括ケアシステムにおける自助・互助をテーマにワークショップを実施し、宮前区らしい地域包括ケアシステムを推進します。ワークショップの成果を、地域へ還元し、関係団体や関係部署と共有し、各々の取組に反映していきます。

実施結果 (Do)								
<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
<b>取組内容の実績等</b>	目標どおり達成できました。 宮前地区(鷺沼町会)及び向丘地区(蔵敷団地親和会)で10月から12月にかけて各々の地区で3回、合計6回ワークショップを開催しました。							
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	ワークショップの開催	目標 実績	2 2	2	2	地区
	2			目標 実績				
	3			目標 実績				
	4			目標 実績				

評価 (Check)			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	急速な高齢化が進む中、誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、地域住民や町内会・自治会、民生委員児童委員、保健・医療・福祉関係機関、ボランティア団体など地域内の多様な主体の取組とともに、主体間の緊密な連携が求められています。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	区民の誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、今後も宮前区内における地域包括ケアシステムの自助・互助に対する意識づくりとともに関係団体との連携が必要となるため、必要性は高いと考えます。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	選定した2地区において、地域包括ケアシステムにおける自助・互助の意識づくりができ、実際に互助の取組を始めた地区が出てきたことから、一定の成果があったと考えます。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>b</b>
	評価の理由	関係機関等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)			
<b>今後の事業の方向性</b>	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	<b>I</b>	宮前区民の誰もが安心して住み慣れた地域や自らが望む場で生活していくためには、地域のつながりや居場所が必要なため、今後も本事業を継続していくことが適切であると考えます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	15	しあわせを呼ぶコンサート開催事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		麻賀	65358	

<b>事業の概要</b>									
事業の概要		ベートーベンの第九を原語で合唱したいというある障害者の方の想いを受けて、区内在住の音楽家と福祉施設関係者等の尽力により、平成12年に第1回のコンサートとして実現しました。以降、ボランティア団体や関係者の連携とともに市の音楽事業の推進ともタイアップして宮前区主催、市民館大ホールを使用し、第一部は合唱、第二部はプロによる演奏で、地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に寄与していきます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域の輪・健康づくり事業				
		平成12年度	—						
地域の課題と現状		毎年、本コンサートの実施に向けて、宮前区内の障害者施設は、宮前区障害者施設・作業所等連絡会として連携して活動し、自立支援と社会参画の推進のため、障害者の活動支援に取り組んでいます。本年で第17回目となり、地域に広く定着した事業ですが、区役所、連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組んでまいります。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		2,782	2,779	2,779	2,777	2,779	
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源		2,782	2,779	2,779	2,777	2,779			

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	宮前区の障害者福祉事業として、障害者の自立支援、社会参画の推進へ向け、障害者の音楽活動を紹介するとともに、社会参加の機会を提供していきます。また、地域に暮らし集う方々の交流と相互理解の場としてコンサート事業として開催し、自立支援・バリアフリーといった福祉の増進を図ります。
今年度の事業の取組内容	実行委員会による検討を重ねて、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行います。

<b>実施結果 (Do)</b>								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	実行委員会による検討を重ねて、第一部:宮前区内の障害者施設・作業所の利用者の方々による合唱、第二部:一流の演奏家によるゲストステージとして構成し、併せて、市民館ロビーにおいて各施設での手作りの食品・作品等を展示販売し活動紹介を行い、合計約800人の来場者となりました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	コンサート参加者・来場者総数	目標		900	900	人	
			実績	900	800			
	2		目標					
			実績					
3		目標						
		実績						
4		目標						
		実績						

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化	ノーマライゼーションの広がりの中で、区民をはじめ地域に暮らし集う方々の相互理解と交流を深め、バリアフリー社会の構築と障害者福祉の増進に向けて、音楽を愛する区民の賛同を受けて地域では定着したコンサート事業となっています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	事業の安定的継続へ向け、区役所・連絡会及び実行委員会による連絡調整を一層、密にするとともに、委託業務が円滑に行われるよう仕様書内容を精査しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	他に例を見ない宮前区独自の障害者福祉事業として実施してまいります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	合唱参加者、来場者ともに安定した実績を得ています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	事業の安定的継続へ向け、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業を執行してまいります。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	宮前区の障害者福祉事業として、地域に広く定着しており、区役所及び実行委員会による連絡調整を一層、密にししながら事業の安定的継続へ取り組んでまいります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	05	子育て情報発信事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			695000	保健福祉センター地域ケア推進担当・保育所等・地域連携担当		田中	65512		

## 事業の概要

事業の概要	宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安についての軽減を図るために、様々な広報媒体を活用して、子育てを行う一人一人に必要な情報を分かりやすく丁寧に知らせることにより、区民同士が助け合い、安心して子育てができる環境を整備することを目的としています。 (実施内容) ①子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」及び「とことこおでかけマップ」の改訂増刷 ②「地域子育て支援センター」広報パンフレットの発行 ③WEB版「みやまえ子育てガイドとことこ」、及びソーシャルネットワークサービスのフェイスブック、ツイッターを活用した即時性のある情報発信の推進							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業				
	—	—						
地域の課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮前区は0歳から14歳までの人口割合が7区中で最も多く、子育てに関する最新の情報を分かりやすく提供し、子育て世代の孤立感や育児不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える必要があります。</li> <li>宮前区独自のWEB版「みやまえ子育てガイドとことこ」、川崎市の子育てアプリ及び川崎市地域包括ケアシステムポータルサイトと、広報媒体が分かれている状況で、効果的な広報を検討していく必要があります。</li> </ul>							
予決算 (単位:千円)	年度		H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費		1,067	959	910	747	849	
	財源内訳	国庫支出金						
市債								
その他特財								
一般財源		1,067	959	910	747	849		

## 計画 (Plan)

事業の目的	広報媒体を活用することで、宮前区内の子育て世代の育児の孤立化の防止や育児不安についての軽減を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」及び「とことこおでかけマップ」の改訂増刷</li> <li>WEB版「みやまえ子育てガイドとことこ」、ソーシャルネットワークサービスのフェイスブック及びツイッター</li> <li>地域子育て支援センターチラシの発行</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・「みやまえ子育てガイドとことこ」及びマップを、外国人住民及び障害者等へ配慮し、ふりがなを追加して改訂増刷 ・かわさき子育てアプリ、WEB版「みやまえ子育てガイドとことこ」、フェイスブック及びツイッターの活用 ・地域子育て支援センター等子育て支援関係チラシの発行						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	成果指標 子育て情報誌「みやまえ子育てガイドとことこ」及び「とことこおでかけマップ」の改訂増刷	目標		7,000	7,000	部
			実績	7,000	7,000		
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	今年度から川崎子育てアプリの利用が開始され、情報発信の選択肢はより多岐にわたっています。そのため、効果的な広報を検討していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	外国人住民及び障害者等へ配慮し、新たにふりがなを追加しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区の情報を子育て当事者と共にまとめた冊子は、当事者だけでなく支援者にも活用されています。また、フェイスブック等の電子媒体は、日時の限定なく閲覧でき、時宜に合った効果的な広報ができるため、今後さらなる活用の可能性があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	印刷物については、毎年一定の部数を配布しており、成果としては例年並みとなります。一方で、電子媒体による広報については、フェイスブックの閲覧数増加、インターネット上からの講座申込等、活用が進んでいます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	印刷部数についての見直しを実施することで、経費削減の可能性がります。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	印刷物については、部数の適正化を図りつつ、継続して発行していきます。また、電子媒体については、各ツールの特性を生かしたさらなる活用を図ります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	15	10	宮前区子育て支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		保育所等・地域連携		杉山	65708	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援拠点の充実を図り、育児力の向上と仲間づくりを目的として、公営保育所が中心となり区内民間保育所とともに、子育て支援事業を展開します。</li> <li>地域みまもり支援センターにおける連携の中で、支援が必要な家庭の情報を共有し、支援体制の強化を図ります。</li> <li>区内保育所の保育の充実を目的に、連携会議やニーズに合わせた研修を実施し、増加する民間保育所の保育の質の維持・向上を図ります。</li> </ul>						
<b>実施期間</b>	<b>事業開始年度</b>	<b>事業終了年度</b>	<b>予算中事業</b>				総合的な子ども支援事業費
	平成19年度	—					
<b>地域の課題と現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅の子育て家庭の割合は0歳児が8割、1、2歳児が6割と多く、また、子育て世代の転入者も多い。育児への不安や孤立感を抱き子育てをしている家庭や外に出て行くことが難しい親子等が増加していることから、在宅の子育て家庭にむけた子育て支援事業の充実を図る必要があります。また、どの地域にも支援が行き届くような仕組みづくりが課題であることから、子育て支援拠点の充実を図ることが求められます。</li> <li>民間保育所が急増し、経験の少ない保育士が増加していることから、人材育成が緊急の課題となっています。</li> </ul>						
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	<b>H27年度</b>		<b>H28年度</b>		<b>H29年度</b>	
		<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>
	<b>事業費</b>	1,689	1,378	1,616	1,028		
	<b>財源内訳</b>						
	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	1,689	1,378	1,616	1,028		

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	安心して子育てができる環境づくり、子育てを支援する体制作り、こどもが健やかに育つ環境づくりを推進します。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>センター、ランチ圈や地域子育て支援センターを活用した子育て支援事業の実施(食事付体験保育、食育講座、健康講座、保育連続講座、父親の子育て体験講座、親子の子育て応援セミナーなど)</li> <li>公営、民間保育所連携事業の実施(保育士、栄養士、看護師などの専門職を含む連携会議や研修の開催)</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>目標を大きく上回って達成</li> <li>目標を上回って達成</li> <li>ほぼ目標どおり</li> <li>目標を下回った</li> <li>目標を大きく下回った</li> </ol>				
<b>取組内容の実績等</b>	目標どおり達成できました。 ・8月27日 オープンセミナー開催 ・9月24日 親子の子育て応援セミナーOG会企画イベント開催 ・10月12日 12月14日 ひよっこ向丘イベント開催 ・子育て支援事業広報紙「あそびにおいで」を発行し、1歳6か月健康診査等で2800枚配布					
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<b>指標分類</b>	<b>指標</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>単位</b>
	1 活動指標	「親子の子育て応援セミナー」	目標 実績	8 8		回
	2 活動指標	食育講座「にこにこもぐもぐ」	目標 実績	15 15		回
	3 活動指標	公営・民間保育所連携会議	目標 実績	21 13		回
	4 活動指標	公営・民間保育所人材育成	目標 実績	27 36		回

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	地域における育児力の低下に伴う子育て家庭への支援の強化、また民間保育所の急激な増加に伴う保育の質の確保が求められています。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
<b>具体的な見直し・改善内容</b> ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	「新たな公立保育所の機能(地域の子ども・子育て支援、民間保育所等への支援、公・民保育所人材育成)」の推進にむけて、予算を増額しました。		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	子育て支援事業における育児相談件数が増えていることや民間保育所が年々増加していることから、事業の必要性は高いと考えられます。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	人材育成事業において、ニーズを捉え実施した研修の参加者や講師派遣の回数が増加する等、民間保育所の人材育成に対する意識向上が数値として現れていることから、一定の成果があったと考えられます。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>a</b>
	評価の理由	地域や保育施設のニーズを日々の活動等により的確に捉え企画をする必要があることや、公営保育所の専門性を活かした事業であることから委託等は適さないと考えます。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	<b>II</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援事業については、民間保育所との連携強化のもと、子育て支援の場と人材の拡充を図り、事業を展開していきます。</li> <li>人材育成については、民間保育所への講師派遣の充実やニーズに合わせた研修を実施し、保育の質の向上に向けた取組をすすめていきます。</li> </ul>

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	15	子ども支援ネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			695000		保健福祉センター地域ケア推進担当			田中	65512

事業の概要									
事業の概要		子どもたちの健やかな成長を支え、区における子育て支援を地域社会全体で推進していくため、地域の関係者が連携して情報共有及び意見交換を行い、乳幼児から児童・生徒までの子どもたちへの連続した支援体制として、子ども支援に関わるネットワーク会議、子育て支援関係者連絡会等を開催しています。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども・子育て支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		宮前区は地形的に山坂が多く交通の利便性が悪いため、子育て支援サービスの提供を受けにくい地域があります。また、7区中0歳から14歳までの子どもや子育て世代の転入者が多いことから、子育ての孤立化や慣れない生活環境での育児不安の軽減など、安心して子育てができる環境の整備が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		655	391	704	387	391	
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源		655	391	704	387	391	

計画 (Plan)	
事業の目的	区における子育てを地域社会全体で支えるために、地域の関係者が連携し、様々な子どもの問題を解決・改善するために、関係機関・団体間の連携やネットワークの強化を図ります。
今年度の事業の取組内容	宮前区子ども・子育てネットワーク会議及び子育て支援関係者連絡会を開催して、情報共有及びネットワークの強化を行い、連携して子育てグループ交流会及び転入者のための交流会(うえるかむクラス)事業に取り組みます。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	宮前区子ども・子育てネットワーク会議及び子育て支援関係者連絡会については目標通り開催し、情報共有及びネットワークの強化・連携を図りました。子育てグループ交流会及び転入者のための交流会(うえるかむクラス)事業については、参加人数の減少が見られたため、次年度、広報及び開催方法を見直して実施していきます。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	宮前区子ども・子育てネットワーク会議の開催			目標 実績	3 3	3 3	回
	2 活動指標	子育て支援関係者連絡会の開催			目標 実績	6 6	6 6	回
	3 成果指標	子育てグループ交流会			目標 実績	30 29	30 27	人
	4 成果指標	転入者のための交流会(うえるかむクラス)			目標 実績	120 86	100 77	人

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	子どもたちを取り巻く環境は多様化し、行政機関のみの対応では困難になってます。今後も、子ども・子育て支援に係る関係機関や団体等の間において、情報や課題の共有を行いながら、協力して問題を解決していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 29 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	イベントの実施を事務局と一部の実行委員のみで担っている執行体制の見直し及びイベント参加者のニーズ調査を予定しています。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子どもを取り巻く環境が変化し、個人の価値観が多様化する中、子ども・子育て支援に係る関係機関・団体等の情報共有、協力体制の整備は問題解決に必要不可欠となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	グループ交流会及びうえるかむクラスについては、参加者の減少が見られたため、開催方法及び広報について見直しが必要と考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	子育てグループ等のあり方が変化中、グループ交流会、うえるかむクラス、広場・サロン等交流会の各事業については、実施方法を見直しつつ、実施していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
子ども・子育てネットワーク会議は、現状のまま継続しますが、グループ交流会、うえるかむクラス、広場・サロン等交流会の3種類の事業について、実施の方法を検討する予定です。		



# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	20	子ども包括支援事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		保健福祉センター地域ケア推進担当		吉留	65512	

事業の概要							
事業の概要		「こどもサポート南野川」では、育児における孤立化の防止と、不安の解消や仲間づくりの応援、そして、不登校、ひきこもりなどの課題を持った子どもたちと保護者の居場所づくりや生活・進路指導など、子育て支援の拠点として、0歳から18歳までの子どもとその保護者を対象とした子育て支援を包括的にを行っています。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業		
		平成21年度	—				
地域の課題と現状		・今後も、地域包括ケアシステムの中で、当該事業が果たすべき役割や運用体系について、関係局、機関及び地域等と協議・調整をしながら、確立していく必要があります。 ・子どもたちが持つ課題は、多岐にわたり複雑で深刻なものも多く、これらに対応するために「地域まもり支援センター」内の専門職、関連部署による協力体制の充実など、一層の連携強化が求められます。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	6,651	6,247	6,665	5,833	5,855
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	6,651	6,247	6,665	5,833	5,855

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもの成長に合わせたトータルサポートの実現、不登校、ひきこもり状態の長期化の予防、子育て支援の拠点として定着し、育児の孤立化や不安の改善を図ります。
今年度の事業の取組内容	課題を持つ子どもたちの居場所づくり、生活・学習支援を業務委託により実施します。 生活・学習支援(常時)、保護者会(年3回)、相談業務(常時)、運営会議(年5回)、情報交換会(年6回)

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。今年度から施設見学会の実施や、分野別専門家研修の対象者を広げた上での実施により、区内の小学校や中学校、区役所職員、主任児童委員などとの連携を強化しました。これにより、各関係機関や支援者から利用の依頼や情報提供をいただくことが増え、利用者数の増加や支援体制の強化につながりました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	運営会議	目標	5	5	3	回
			実績	5	4		
	2 活動指標	情報交換会	目標	7	6	6	回
			実績	7	6		
3 成果指標	こどもサポート南野川利用人数 (不登校支援に係る小・中・高校生延べ利用人数)	目標	1,259	1,300	1,341	人	
		実績	1,259	1,341			
4		目標					
		実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	不登校やひきこもりなどの課題を持つ児童・生徒とその保護者への支援や居場所づくり、未就学児を持つ保護者の子育て支援や親子間交流の場の提供など、切れ目の無い支援が求められる当該事業について、地域包括ケアシステムにおける位置づけ等を考慮し、その事業手法・執行体制について継続して協議・検討していく必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内に「ゆうゆう広場」が無く、不登校児の支援を行う区内唯一の公的施設であるため、一貫して大きなニーズがあると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	昨年度、多くの利用者が進学や復学することを達成しましたが、不登校児への支援施設としての認知度の向上もあり、夏休み以降大幅に利用者が増えています。通学の再開などに向け利用者一人一人の課題に合わせた支援を行っており、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	こどもサポート南野川では生活支援以外に学習支援も行っていますが、利用者数の増加に伴い、現在の職員配置では十分な学習環境の確保が困難な場合があります。支援体制の構築について、見直しを行い改善を図ります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		区内唯一の不登校児の支援施設として、非常に大きな意味を持っており、今後は認知度の向上を図っていくとともに、主任児童委員や区役所の専門職等との協力体制で、多方面からの支援が出来るよう改善を図ります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	25	こども自然探検隊事業費			
担 当		所属コード		所属名		担当者	連絡先		
		695000		保健福祉センター地域ケア推進担当		吉留	65512		

事業の概要								
事業の概要		区内の自然環境の中で、子どもたちが普段なかなか体験できない活動を思いきり行い、達成感や仲間とも連帯感を持つとともに、地域や身近な自然に関心を持つきっかけづくりとして、子どもたちに、森・里山遊び、農作業等体験等を実施しています。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業			
		平成23年度	—					
地域の課題と現状		事業実施に当たっては、子どもたちが安全に参加できるよう、地域の自然や地理・地形に精通し、子どもたちへ、これらの豊富な指導経験を持つスタッフによる対応が不可欠です。また、参加者が増加傾向にあり、ニーズが高まっているため、今後は、他の活動団体にもこの取組への参加を呼びかけ、活動の範囲を広げていくとともに、事業に必要な費用を確保していく必要があります。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	100,000	100,000	100,000	100,000	110,000	
		財源内訳	国庫支出金					
			市債					
			その他特財					
			一般財源	100,000	100,000	100,000	100,000	110,000

計画 (Plan)	
事業の目的	区内の自然環境を利用した森・里山遊び、農作業等体験等といった自然と触れ合うことで、自然を大切にする心を育てるとともに、これらの自然を守る大人たちとの交流する機会を持ち、地域コミュニティにおける子どもたちの繋がりを深め、活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	とんもり谷戸の自然を利用して、夏あそびコース(田植え・ジャガイモ掘り、イカダづくり、いかだ下り)及び秋あそびコース(稲刈り・脱穀・森・里山遊び、サツマイモ掘り)を開催します。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		目標どおり達成できました。 ・夏コース(3回)及び秋コース(3回)の実施 ・参加者 夏コース:30人 秋コース:33人						
数値で把握することが可能な取組		指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
		1	活動指標	夏あそびコースの実施	目標	3	2	回
					実績	3	3	
		2	活動指標	秋あそびコースの実施	目標	3	2	回
					実績	1	3	
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		当該事業が宮前区内に浸透してきたため、参加者が増加傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		これまでの実施結果を踏まえ、より効果的に事業目的を達成できるよう、実施時期及び遊びの見直しを行い、円滑に事業を実施することができました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子どもの外遊びの機会が減少傾向にあるなかで、区内の自然を活かした貴重な体験が出来る場として認知されており、世代間交流のきっかけにもなっているため、ニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	形式を夏の時期の開催のみの形式から、夏、秋の2季開催とすることで、季節ごとの自然環境に即した豊富な体験ができ、参加者が増加していることから、一定の成果があったと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	初山地区で自然の保全活動を多く行ってきた市民団体に委託をしていることから、地区内の市民の方から場所の提供などの協力をとりつけることが出来ており、円滑な事業実施が可能になっています。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	参加者の増加等、一定の成果はありましたが、地域コミュニティにおける繋がりを深めて活性化できているのか、検証する必要があります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	30	友好都市交流事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		地域振興課			鈴木	65351

事業の概要								
事業の概要		・民間交流事業委託：都市化が進む宮前区において、子供たちが佐久市での自然体験を通じ、里山保持などの重要性を学びます。運営は体験研修のプログラム作りや、参加者募集、引率など主体的に行える団体に事業委託して行います。 ・物産観光交流事業委託：両都市の観光物産交流を積極化させるため、宮前区観光協会に委託して行います。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業			
		平成8年度	—					
地域の課題と現状		●子どもたちが自然と接する機会が不足していることから、自然体験などを実際に行い、里山保持などの必要性を学ぶきっかけ作りとなっている。 ●長野県佐久市との友好都市締結から15年以上がたち、双方の都市の状況も変わりつつある。市民間交流だけでなく、観光物産交流など発展性のある交流としていくことが課題となっている。						
予決算 (単位：千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	430	389	430	429	430	
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	430	389	430	429		

計画 (Plan)	
事業の目的	●区政15周年事業の一つとして平成8年度から開始した長野県佐久市との友好都市交流事業を継続し、両市区の交流をさらに深めていきます。長野県佐久市との交流を実施することで、互いの市にない要素を補完し合い、「個性豊かな新しい都市生活文化を創造する区」の実現を目指します。
今年度の事業の取組内容	●物産・観光交流事業委託 ●民間交流事業委託(子ども自然交流事業)

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・10月16日、宮前区民祭へ佐久市物産展の招致 ・8月27～28日民間交流事業(子ども自然交流事業)を実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
	4	目標						
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	宮前区も都市化が進み、子どもたちが自然と接する機会が少なくなっており、自然体験などの必要性は増してきている。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	りんごオーナー制度の広報方法の見直し、物産・観光交流事業委託を減額しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子どもたちが自然と接する機会が少なくなっており、自然体験などの必要性は増してきている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	佐久市との交流は着実に実施しており、一定の成果があつてもと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、役割分担など見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	友好都市民間交流事業も着実に実施しており、また、物産観光事業においても、区民祭への物産展招致やりんごオーナーの募集PRなどを行い、佐久市との交流は着実に進んでいることから、現状のまま継続していくことが適切であると考えられます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	20	35	冒険あそび場活動支援事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		保健福祉センター地域ケア推進担当		吉留	65512	

## 事業の概要

事業の概要	公園というオープンスペースを活用し、与えられた遊具だけではなく、思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境を確保するため、現在では5団体が実施団体登録をし、地域において、定期的に遊ぶことのできる場を提供しています。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	総合的な子ども・子育て支援事業			
	平成23年度	—					
地域の課題と現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の子どもたちは自由に遊べる空間が不足しており、公園などを活用し、地域住民が主体となって行う「冒険あそび場」活動を支援することにより、一層の地域コミュニティの活性化と次世代育成の場づくりを推進する必要があります。</li> <li>公園を地域コミュニティの拠点として機能させるには、乳幼児からシニア世代まで幅広い年齢層の多くの人が、気兼ねなく集い、利用してもらえる工夫が必要です。</li> </ul>						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	758	753	722	717	571	
	財源内訳						
	国庫支出金						
市債							
その他特財							
一般財源	758	753	722	717	571		

## 計画 (Plan)

事業の目的	子どもたちが想像力を働かせて思いきり遊ぶことのできる外遊びの環境を確保及び近所に住む様々な世代や年齢の人が集い関わり合うことの期待できる事業を推進することで、地域コミュニティの活性化につなげていきます。
今年度の事業の取組内容	必要な遊具や物品の貸出、月1回のネットワーク会議の開催等の地域主体の活動支援、活動を始めた団体の技術向上に向けた研修会開催の支援及び普及啓発のための広報物の作成・配布を支援します。

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	2	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	目標を上回って達成できました。出張冒険遊び場の開催をきっかけに、公園で活動をしている市民団体との調整が進み、これまで出張冒険遊び場として不定期開催していた宮崎第4公園で、定期開催を行う団体を新たに立ち上げることが出来ました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1	活動指標 冒険遊び場活動団体のネットワークへの登録団体数	目標		5	6	団体
			実績	5	6		
	2	活動指標 ネットワーク会議の開催	目標		11	12	回
			実績	11	12		
3	活動指標 シンポジウムの開催支援	目標		1	1	回	
		実績	1	1			
4	活動指標 出張冒険遊び場	目標		4	4	回	
		実績	4	5			

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	当該事業が子どもたちの成長や地域コミュニティの活性化の果たす役割など、その成果について地域住民等から一定の理解が得られてきています。そのため、当該活動の一層の普及を図るため、活動団体を増加のため、支援の必要があります。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	当該事業の実績を有する事業団体への業務委託実施により、順調かつ円滑な事業推進が行えました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	公園という幅広い世代が利用している場を使った事業であり、子どもの育ちの場や子育て世代の交流の場としてだけでなく、多世代交流の場としても活用されているため、地域包括ケアシステム推進に当たって、必要性が高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	出張冒険遊び場の実施やシンポジウムの開催により認知度が向上しており、公園で活動する地域団体との交流も活発になっています。担い手を希望される方も増えており、今後も活動が拡大していくことが見込まれます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性が有ります。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	冒険遊び場活動の実績とノウハウを持つ区内の市民団体に支援業務の委託を行っており、他の市民団体との円滑な調整や、事業の実施がなされています。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	今後も多世代交流の場として大きな意味を持つため、活動範囲を広げるために担い手の増加が求められています。そのため、担い手の確保に向けた取り組みについて検討し、情報発信や各団体の連携に向けた調整を行っていきます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	05	安全安心まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		栗野	65352	

事業の概要								
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全安心に関わる様々な分野の団体が構成される「宮前区安全・安心まちづくり推進協議会」を軸として、区民、地縁団体、事業者、行政機関などの連携・協働により、それぞれの対策を推進し、区民の暮らしやすい環境づくりに取り組みます。</li> <li>●パトロール用資機材の貸与や落書き消し用品の提供を行い、地域の活動を支援します。</li> <li>●要望の多い、通学路等における交通安全対策として、啓発看板等の掲出等を行います。</li> <li>●「神奈川県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例」や「市安全・安心まちづくり推進計画」を基に、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会と協働し推進します。</li> </ul>						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業費			
地域の課題と現状		地域での結びつきが希薄になっていく中、自分たちのまちは自分たちで守るという意識を浸透させ、地域内の結びつきを強くするとともに、地域での活動の推進を図り、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	1,429	1,347	1,710	1,630	1,695	
		財源内訳						
		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	1,429	1,347	1,710	1,630	1,695	

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民誰もが安全で安心して暮らせるまちを形成していきます。</li> <li>●地域防犯活動を支援するため、地域の自発的な活動を支援します。</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自主防犯活動への支援</li> <li>●地域/パトロールや落書き消し等の支援</li> <li>●通学路を中心とした啓発看板の掲出等による交通安全対策の推進</li> <li>●啓発看板等の効率的な維持管理に向けた調査(4小学校区)</li> <li>●中学生を対象としたスクエアドストレート方式交通安全教室の実施</li> </ul>

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	スクエアドストレート方式交通安全教室を平成27年度より導入し、区内全8中学校を3か年により実施する計画とし、1年目2校、2年目3校で実施しました。次年度以降も3校ずつ実施する予定です。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	区内刑法犯認知件数	目標	実績	889	881		件
	2 成果指標	区内交通事故件数	目標	実績	455	474		件
	3 成果指標	小学校区毎の啓発看板等台帳整備状況	目標	実績	3	4		地区
	4 成果指標	スクエアドストレート方式交通安全教室の実施	目標	実績	2	3		回

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	未成年が加害者になる自転車死亡事故が発生しており、より継続的な交通安全教育が求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	スクエアドストレート方式交通安全教室にて、効果を確認するため、新たにアンケートを実施した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	交通事故の増加や新たな犯罪が起こっているため、ニーズが増えています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	実施の目標に対して順調に処理しています。また、スクエアドストレート方式の交通安全教室で実施したアンケートにて、高い有効性が認められています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	関係団体、委託団体等とより連携し、効率性を上げていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	本事業は地域の自主的な活動を支援することにより、区内の安全安心を推進する事業であることから、地域の実情に応じたきめ細やかな支援を継続的に行うことが必要であり、現状の支援体制を維持し、活用することが必要です。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	10	子ども安全・安心見守り事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			695000		保健福祉センター地域ケア推進担当		吉留	65512	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>	・宮前区安全・安心まちづくり推進協議会の設立総会時に、宮前区PTA協議会からの提案により、部会組織として同日に設置したものです。 ・宮前区安全・安心まちづくり推進協議会総会と同時開催により、活動報告、活動計画について確認し、宮前区全体で安全・安心のまちづくりを推進します。各小学校の見守り活動(パトロール)等の状況(登下校時や、夏休み、冬休み等における実施内容)を報告し、地域が活動に多く参加している学校の取り組み状況などについての情報交換を行い、効果的な活動を行います。							
<b>実施期間</b>	<b>事業開始年度</b>	<b>事業終了年度</b>	<b>予算中事業</b>	<b>安全・安心・快適まちづくり事業</b>				
	平成18年度	—						
<b>地域の課題と現状</b>	子どもたちの安全・安心を確保するために、関係機関、団体、地域住民等の連携強化を図るとともに、地域における子どもの安全に関する意識や子どもたち自身の危機管理能力を高めていく必要があります。							
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	<b>H27年度</b>		<b>H28年度</b>		<b>H29年度</b>		
		<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	<b>予算額</b>	<b>決算額</b>	
	<b>事業費</b>	154	63	90	27	142		
	<b>財源内訳</b>	国庫支出金						
		市債						
	一般財源	154	63	90	27	142		

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	区内の学校、保護者、地域住民、事業者、関係団体、警察、及び区役所等行政機関が相互に連携することにより、子どもを交通事故や犯罪から守り、登下校時等における子どもの安全の確保を図ります。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	子ども安全・安心協議会における会議を開催し、情報提供及び意見交換を行います。

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
<b>取組内容の実績等</b>	目標通り達成できました。 8月26日 協議会総会を開催 平成29年2月2日 協議会連絡会を開催						
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<b>指標分類</b>	<b>指標</b>	<b>H27年度</b>	<b>H28年度</b>	<b>H29年度</b>	<b>単位</b>	
	1	活動指標 子ども安全・安心協議会の開催	目標		2	2	回
			実績	2	2		
	2		目標				
			実績				
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	川崎市内で起きた中学生の死亡事件をきっかけとして、子どもたちの交友関係や、その周囲の環境に対する注目が集まってきており、子どもたちの安全を地域全体で確保することが求められています。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
<b>具体的な見直し・改善内容</b> ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	子ども安全・安心協議会については、宮前区安全・安心まちづくり推進協議会の部会組織という位置付けであることから、親会議を所管する危機管理担当へ事務局を移管について検討しました。また、「地域安全マップづくり」への支援について、平成28年度から休止とします。		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	区内児童の安全に関わる団体が一堂に会するため、情報交換の場として重要です。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>a</b>
	評価の理由	総会と連絡会の計2回の実施で情報共有を行い、より一層連携できたと考えられます。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>a</b>
	評価の理由	所管課が事務局となって実施しており、効率的な執行体制をとっています。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	<b>II</b>	

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	15	防災意識普及啓発事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			690000		危機管理担当			木内	65361

<b>事業の概要</b>								
<b>事業の概要</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種の防災意識普及啓発活動(防災ニュースの発行、防災フェアの実施等)を行い、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。</li> <li>●地域で防災活動の中心となる地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施することにより、地域の防災力向上に繋げていきます。</li> </ul>						
<b>実施期間</b>		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業費			
		平成20年度	—					
<b>地域の課題と現状</b>		大規模災害発生時の被害を最小限に抑えるため、区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせ、防災意識を向上させる取り組みを進めていく必要があります。						
<b>予決算</b> (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	2,638	2,432	2,724	2,478	2,555	
<b>財源内訳</b>		国庫支出金						
		市債						
		その他特財						
		一般財源	2,638	2,432	2,724	2,478	2,555	

<b>計画 (Plan)</b>	
<b>事業の目的</b>	●区民一人ひとりに防災に関する知識を根付かせることにより、防災意識の向上を図ります。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	●防災ニュースの発行、防災フェアの実施。地域防災リーダーの育成を目的とした「防災推進員養成研修」及び養成研修を受講した防災推進員のさらなる知識・能力向上を目的とした「防災推進員フォロー研修」を実施。

<b>実施結果 (Do)</b>							
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
<b>取組内容の実績等</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●防災フェア参加人数は目標を下回ったが、フェアは終始盛況に終わり、参加者からのアンケート結果をみても防災意識の普及啓発は成功したといえます。</li> <li>●防災推進員の登録者数はほぼ目標どおりの人数となり、研修内容も参加者が興味を持って臨める内容だったといえます。</li> </ul>					
<b>数値で把握することが可能な取組</b>		指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
		1 成果指標	防災ニュース発行部数(年3回)	目標 実績 31,800	31,800		部
		2 成果指標	防災フェア参加人数	目標 実績 900	700		人
		3 成果指標	宮前区防災推進委員登録者数	目標 実績 408	457		人
		4		目標 実績			

<b>評価 (Check)</b>			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組が求められています。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 24 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		防災フェアで、子どもたちも参加できる「イベント」を盛り込み、幅広い世代に参加していただいた。	
<b>必要性</b>		事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている <b>a</b>
		評価の理由	昨年、熊本地震、鳥取地震が起き防災に対する関心は高まっている。
<b>有効性</b>		活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない <b>a</b>
		評価の理由	窓口で防災マップ等の防災資料の配布数が増え、防災に関する関心が高まっている。
<b>効率性</b>		事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある <b>b</b>
		評価の理由	防災ニュースは、内容を見直し、経費削減をする予定。

<b>改善 (Action)</b>			
<b>今後の事業の方向性</b>		方向性区分	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了 <b>Ⅱ</b>
		方向性	Ⅱ 防災ニュースは、内容を見直す予定。 防災フェアは、区の総合防災訓練とともに、今後実施方法を検討する予定。 防災推進員のフォロー研修は、内容、実施方法を今後検討する予定。
		<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>	

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	20	地域防災力向上事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			690000		危機管理担当		木内	65361	

<b>事業の概要</b>									
<b>事業の概要</b>		<p>●宮前区の防災力向上に向け、防災に関する必要な事項を検討し、情報の共有化を図るため、宮前区を管轄する公共公益機関及び関係団体等を構成員とする宮前区地域防災連絡会議における検討を進めます。所掌事項は、宮前区地域防災計画に関すること、地域防災力向上に向けた各種取組と連携に関すること及び地域防災力向上に向けた情報共有等を推進します。</p> <p>●大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組として、地域防災連絡会議各分会での課題・問題点の抽出とその対応検討の結果と、行政の災害対応力強化を目指して事業を進めます。3か年の計画整備により、誘導案内看板の設置や区役所及び避難所に必要な備品を配備します。</p>							
<b>実施期間</b>		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心・快適まちづくり事業費	
		平成24年度		—					
<b>地域の課題と現状</b>		<p>地域の防災力向上については多くの区民が関心をもっており、他地域でも実災害が発生する中、防災に関する必要な事項を検討し、大規模災害発生時の被害を最小限に抑えるため、地域住民、関係団体、事業者、警察及び行政等が連携して取り組みを進めていく必要があります。</p>							
<b>予決算</b> (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額		決算額		予算額	
				3,732		3,217		3,310	
				2,733		2,733		1,450	
<b>財源内訳</b>		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源		3,732		3,217		3,310	
								2,733	
								1,450	

<b>計画 (Plan)</b>	
<b>事業の目的</b>	<p>●区内関係機関・事業者・地域団体等で構成される宮前区地域防災連絡会議及び各分会における課題の検証と検討を行い、地域防災力を向上します。</p>
<b>今年度の事業の取組内容</b>	<p>●帰宅困難者対策として、幹線道路、国道246号線への誘導案内標識等の整備に取り組みます。また、避難所の滞在環境の改善のための「避難所備蓄エアマット」を配備します。</p>

<b>実施結果 (Do)</b>						
<b>上記取組内容に対する達成度</b>		3		<p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>		
<b>取組内容の実績等</b>		<p>●避難所備蓄エアマットは当初の目標を下回っての整備となってしまう、全25箇所中23箇所の整備となってしまうが、既に整備済みの避難所も避難者数に対して供給数が足りないことから、次年度以降も継続して整備を行い、未整備の2箇所を含む整備箇所数を目標として取り組んでいきます。</p> <p>●幹線道路への案内表紙奇数は目標どおり完了しました。</p>				
<b>数値で把握することが可能な取組</b>		指標分類		指標		単位
		1 成果指標		避難所備蓄エアマット整備箇所数(全25箇所3年計画)		箇所
				目標		
				実績		8
		2 成果指標		幹線道路への案内標識数		箇所
				目標		
				実績		3
		3		目標		
				実績		
		4		目標		
				実績		

<b>評価 (Check)</b>			
<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>		大規模災害発生時の被害を最小限に抑える取組が求められています。	
<b>事業の見直し・改善内容</b>		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
<p>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</p>		避難所備蓄用エアマットの整備、幹線道路への案内標識の整備を開始した。	
<b>評価項目</b>			
<b>必要性</b>		事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	
		a. 薄れていない b. 薄れている	
		a	
<b>有効性</b>		活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	
		a. 上がっている b. 上がっていない	
		a	
<b>効率性</b>		事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	
		a. 可能性はない b. 可能性はある	
		b	
<b>評価の理由</b>		市で一括購入すると安く購入できる可能性がある。	

<b>改善 (Action)</b>			
<b>今後の事業の方向性</b>		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性	
		I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	
		II	
		幹線道路への案内標識は終了するが、エアマットの購入は今後6年は継続する予定。	



# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	25	次世代まちづくり・地域交通環境向上事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		宮前区役所まちづくり推進部企画課		米塚	65123	

<b>事業の概要</b>									
事業の概要		少子化や高齢化社会の進展に対応したまちづくりに関する調査を行う。生活課題解決に向けた取組をきっかけとした「地域が支え合うしくみづくり」に資する調査研究を行う。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業				
		平成27年度	—						
地域の課題と現状		今後少子化や高齢化が想定されることから、交通課題等の地域課題に対してまちづくり施策を行っていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	3,000	2,646	3,000	2,160	3,398		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源	3,000	2,646	3,000	2,160	3,398				

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	少子高齢化の進展を前提として、今後の宮前区の生活環境等の向上・強化を目指す。
今年度の事業の取組内容	宮前区が抱える生活課題、特に丘陵部における高齢者や子育て世代の移動困難について現状を整理し、この課題を住民が自ら解決するにあたっての合意形成という観点から、学識経験者による考察を行う。

<b>実施結果 (Do)</b>								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	課題を整理し、生活課題解決に向けた手法の検討し、学識経験者による考察を行い、報告書ととりまとめた。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	調査報告書の作成	目標	実績	1	1		冊
	2		目標	実績				
	3		目標	実績				
	4		目標	実績				

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化	急激な高齢化が進展化する社会の中で、社会状況の変化に対応した今後の課題解決検討に向けた事業となっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	事業の内容を精査し、委託業務が円滑に行われるよう仕様書内容を精査しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会状況としては高齢化が進展しているため、課題解決のニーズはあります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	適切に報告書の取りまとめを行い、今後の課題解決につながる報告書となっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区役所及び市役所における連携を強化しながら、効率的に事業を行っていきます。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	
			宮前区の生活課題の解決にむけて、提案された解決策の実現に向けて継続して取り組んでいきます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	30	宮前区スポーツ環境整備事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		地域振興課			齋藤	65360

<b>事業の概要</b>							
事業の概要		西長沢公園多目的広場の除草及びダスト舗装を行います。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業		
		平成24年度	—				
地域の課題と現状		屋外スポーツ施設の少ない宮前区では、より多くの区民がスポーツに楽しめる環境を整えるため既存施設の補修・整備が必要です。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	4,000	4,000	1	0	4,500
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	4,000	4,000	1	0	4,500

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	西長沢公園多目的広場で区民が快適にスポーツを行えるよう環境整備を行います。
今年度の事業の取組内容	西長沢公園多目的広場の除草、ダスト舗装

<b>実施結果 (Do)</b>								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・平成29年3月ダスト舗装(宮前区スポーツ環境整備事業費(鷲ヶ峰けやき公園トイレ工事分))にて執行							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1			目標				
				実績				
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化		神奈川県内広域水道企業団が実施する耐震工事に伴い使用できなくなるため、新たな場所を探す必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(平成 32 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	西長沢公園多目的広場は土日及び平日の午後に高い利用率で利用されているため事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	市民が安全にスポーツを行うことができているため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	道路公園センターと協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平成32~34年度に耐震補強工事が行われる予定のため、道路公園センターと協議しながら、平成31年度までは継続することが適切であると考えられます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	25	35	宮前区スポーツ環境整備事業(鷺ヶ峰けやき公園トイレ工事分)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691700		地域振興課		齋藤	65360	

<b>事業の概要</b>									
事業の概要		地元からの要望もあり、長時間スポーツするにあたり必要不可欠なトイレを鷺ヶ峰けやき公園に設置します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	安全・安心・快適まちづくり事業費				
		平成24年度	—						
地域の課題と現状		屋外スポーツ施設の少ない宮前区では、より多くの区民がスポーツに楽しめる環境を整えるため既存施設の補修・整備が必要です。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費			23,368	22,556	0		
		財源内訳	国庫支出金						
			市債			16,000	15,000		
その他特財 一般財源				7,368	7,556				

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場で多くの区民が長時間安心してスポーツを行えるよう、環境を整備します。
今年度の事業の取組内容	鷺ヶ峰けやき公園多目的広場にトイレを設置

<b>実施結果 (Do)</b>							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。 ・平成29年3月、トイレ完成						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1			目標			
				実績			
	2			目標			
				実績			
3			目標				
			実績				
4			目標				
			実績				

<b>評価 (Check)</b>			
事業を取り巻く社会環境の変化		鷺ヶ峰けやき公園多目的広場を利用するには事前登録が必要ですが、登録団体が少ないので登録団体の拡充を図る必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	広場を定期的に利用している団体があるため事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	離れた場所にあるトイレに行く必要がなくなるため、一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	今年度で終了	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	投資的経費のため、宮前区スポーツ環境事業から分けた事業であり、トイレの設置が完了したため、事業終了とします。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	05	区役所庁舎エコ化事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		宮前区役所まちづくり推進部総務課			小早川	65111

事業の概要									
事業の概要		庁舎の省エネルギー化(遮光遮熱フィルム設置及び照明設備のLED化)を推進することで、市民への省エネ意識を啓発することはもとより、快適な庁舎利用及びサービス向上を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業				
		平成25年度	—						
地域の課題と現状		庁舎における節電対策が求められており、電力使用の大部分を占める照明について対策が必要となっています。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
				予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費		2,360	2,160	1,988	1,836	2,000	
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源		2,360	2,160	1,988	1,836	2,000			

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が省エネに興味を持っていただくのと同時に、より快適に庁舎を利用していただくようにします。
今年度の事業の取組内容	1階(地域振興課・危機管理担当・市税証明発行コーナー)及び3階(総務課・企画課・衛生課)の照明設備をLED化します。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	1階(地域振興課・危機管理担当・市税証明発行コーナー)及び3階(総務課・企画課・衛生課)の照明設備をLED化しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	照明設備のLED化	目標	194	180	本	
				実績	188	170		
	2			目標				
				実績				
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		市内における中長期的な電力需給に関する安全と安心を確保するため、庁舎にて節電対策を行います。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 26 年度 □ 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・区役所について、平成26年度に遮光遮熱フィルム設置が予定どおり完了したため、平成27年度から遮光遮熱フィルム設置を行っていません。	
評価項目			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	庁舎の省エネルギー化を推進することで、市民に対し環境啓発を行うことはもとより、快適な庁舎利用及びサービス向上に繋がっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業開始前(平成22年度)に比べ、消費電力量が約80%に収まっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	LEDの仕様変更等による経費削減を検討していきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	LEDの仕様変更等による経費削減を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	10	みやまえロビーコンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691700		地域振興課			麻賀	65358

事業の概要							
事業の概要		毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、ランチタイムの時間帯(12:05~12:45)に「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においては巡回コンサートとして開催します。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業		
		平成5年度	—				
地域の課題と現状		市民にとって区役所等の行政施設は必要な各種手続き等を行う場所となっており、親しみも希薄な状況にあります。区役所に対するイメージアップを図り、区民の行政に対する意識や地域への関心等の向上へつなげてまいります。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	2,164	2,149	2,017	1,923	1,923
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	2,164	2,149	2,017	1,923	1,923
計画 (Plan)							
事業の目的		主に区役所来庁者の事務手続き待ち時間等を音楽演奏によって潤いのあるひと時としていただくため、区民サービスの一環としてランチタイムコンサートとして開催します。音楽を通して、行政施設に対する親近感を高めるとともに、地域コミュニティの拠点としての機能強化を図り、区民の憩いの場、交流の場として、気軽に、身近に上質な音楽と接することができるよう文化意識の向上につなげてまいります。					
今年度の事業の取組内容		毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、「みやまえロビーコンサート」を開催します。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においても巡回コンサートとして開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、来場者の増加や区民の満足度を高めてまいります。					

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		毎月1回(年間12回)区役所2階ロビー等において、「みやまえロビーコンサート」を開催しました。年間12回のうち区役所以外の区内行政施設においても巡回コンサートとして開催し、提供する音楽は上質で季節に応じた、また、幅広いジャンルのプロ又はそれに準ずる演奏者とする事で、コンサートの質を担保し、約1820人の来場となりました。						
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
		1 成果指標	ロビーコンサート来場者数(数取器)		目標 実績 1,500	1,600 1,820	1,700	人
		2			目標 実績			
		3			目標 実績			
		4			目標 実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。今後も行政施設に対する親近感を高めるとともに、区民の憩いの場、交流の場として充実させてまいります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		より上質で幅広いジャンルの音楽を区民に提供するため委託仕様書内容を精査しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	音楽のライブ演奏による潤いのあるひと時を過ごすことは、市民生活の中で貴重な時間であり、また、区民サービスの一環としても区民から高い評価を得ている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	毎回安定した来場実績を得ており、アンケート結果からも非常に高い評価を得ている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	区民から高い評価を得ている事業のため、委託により事業を継続していく必要がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	区民サービスとして区民から高い評価を得ており、企画内容の充実に向けて事業を継続してまいります。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	15	宮前区役所BGM配信事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		総務課			近岡	65112

事業の概要							
事業の概要		区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間のストレス軽減を図り、区役所サービス向上につなげることを目的に平成14年10月から本事業を実施、区役所に設置している専用のスピーカーを用いてBGMを庁舎内に配信しています。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業		
		平成14年度	—				
地域の課題と現状		区民課・保険年金課等の窓口来庁者の多いフロアを中心に受付待ちの時間が生じてしまうことが多くあります。特に繁忙期等は受付待ちが長時間にわたることもあり、そのことが来庁者のストレスとなってクレームや区役所イメージの低下につながる恐れもあります。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	44	44	44	44	44
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	44	44	44	44	44

計画 (Plan)	
事業の目的	区役所庁舎に音楽を流すことで来庁者の受付待ち時間のストレス軽減を図り、区役所サービス向上につなげます。
今年度の事業の取組内容	区役所庁舎内にBGMを配信し、区役所サービスの向上につなげます。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	目標どおり達成できました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	年間を通した庁舎内のBGMの配信	目標		1	1	回(通年)
				実績	1	1		
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化			
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区役所サービス向上の要求は高まっており、事業の必要性も継続していると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	BGMに対するクレーム等は出しておらず、ストレス軽減の効果は発揮されていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	現在も低額の予算で事業を実施できており、現状維持を予定しております。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	庁舎内におけるBGM配信は区民に浸透しており、今後も継続していきたいと考えております。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	20	バリアフリー推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		宮前区役所まちづくり推進部総務課			小早川	65111

事業の概要							
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民広場及び区役所周辺のタイルをノンスリップ化することにより、市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用できることを目的とします。</li> <li>●平成15年度から地域課題対応事業にて事業を開始しました。区役所周辺のタイルのノンスリップ化を実施し、現状市民広場が未実施箇所となっている状況です。</li> </ul>					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業		
		平成15年度	—				
地域の課題と現状		区役所・市民館の間にある広場は、庁舎建築後33年による劣化により、タイルが欠けたり滑りやすい状態になっており、転倒等による事故が発生する可能性があります。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	2,309	2,228	1,762	1,695	2,495
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	2,309	2,228	1,762	1,695	2,495

計画 (Plan)	
事業の目的	市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用出来ることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	市民広場北西側及び南側のタイルを張り替えます。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		市民広場中央のタイルを張り替えました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	タイルの張替え	目標	40	85	㎡	
				実績	60	55		
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化			
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民広場利用者が安全・安心に庁舎等を利用出来るため、ニーズは高いと考えられます	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	タイルを張り替えた部分については、以前より市民広場利用者にとって安全・安心な場所になっております。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	タイルの仕様変更等による経費削減を検討していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
タイルの仕様変更等による経費削減を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。		

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	25	窓口サービス向上事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			693300		宮前区役所区民サービス部区民課			岩谷	65232

事業の概要							
事業の概要		来庁者が、区役所で過不足なく必要なサービスを受け快適に利用していただくため、接遇研修会を実施、またワーキングチームを結成し、窓口サービスについての施策検討等を行います。					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業		
		—	—				
地域の課題と現状		区役所で行う手続き等については、年々その取扱いがより細分化されることにより、窓口で案内を行う職員の質の向上が必須となっています。また、窓口で快適に過ごしていただく環境の最適化も、併せて必要なものと考えています。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	220	146	175	130	172
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	220	146	175	130	172

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者が、“窓口利用後にいかに気持ちよく後にしてもらえるか” の考えのもとに、①「接客サービス」、②「待合スペースや窓口の環境整備」の向上を図ります。
今年度の事業の取組内容	・転入者への各種手続き案内チラシの作成及び配布 ・団扇型順番待ち番号カードの使用 ・待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充 ・接遇研修会等の実施等

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		目標どおり達成できました。 接遇研修会やワーキングチームの打合せは、当初予定回数を実施いたしました。						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	転入者への各種手続き案内チラシの配布			目標	100		%
					実績	100	100	
	2 活動指標	待合ロビー内キッズコーナーへの絵本の補充			目標	9		冊
					実績	9	9	
3 活動指標	接遇研修会等の実施			目標	2		回	
				実績	4	2		
4 活動指標	若手職員による「ワーキングチーム」の打合せ			目標	20		回	
				実績	20	20		

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		窓口で求められるサービスの質は、年々より高いものを求められる傾向にあります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近)平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		①窓口案内の改善(フロア案内図の設置、2階フロアの窓口の色分け等) ②階段(正面玄関前)の上り下りの表示	
		評価項目	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	窓口サービスのより良い質への向上は、継続的に求められる状況にあります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	目標で設定した活動指標の数値は達成しており、成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ワーキングチームでの討議等により、今後もより良いサービスを提供するための改善を行っていきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	「来庁者にいかに満足してもらえるか」という窓口サービス向上については、常に考えていかなければならない課題であり、そのための環境整備は必須であると考えています。今後も現状のサービスを維持しながら、さらに質の高いサービスの提供を目指し取組の強化を図ってまいります。



# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	45	30	サービス向上推進事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			691600		宮前区役所まちづくり推進部総務課			小早川	65111

事業の概要							
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設の壁紙・床材の張替・OAフロアの補修・フロア案内表示の増設を実施し、来庁者にとって明るく安全で快適な庁舎にします。</li> <li>●平成26年度に区役所サービス向上を目的とする区役所サービス向上委員会ワーキングチームと連携して2階の床材の張替等を実施しました。</li> </ul>					
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業		
		平成25年度	—				
地域の課題と現状		宮前区役所は建築から34年が経過し、庁舎の汚れ及び劣化が多々見受けられます。床材劣化による剥がれ、OAフロア劣化によるフロアのぐらつきがあり、危険な状況となっています。2階市民広場側入口については、現在フロア案内表示が設置されておりません。このため、2階市民広場側入口から入る来庁者については、現在地や目的地がすぐに分からない状況になっております。					
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額
		事業費	2,294	2,178	2,246	2,008	3,650
財源内訳		国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	2,294	2,178	2,246	2,008	3,650

計画 (Plan)	
事業の目的	来庁者にとって明るく安全で快適な庁舎にします。
今年度の事業の取組内容	3~4階間の階段及び4階の床材を張替えます。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	3~4階間の階段及び4階廊下・第4会議室の床材を張替えました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	床材の張替	目標		393	400	㎡
				実績	330	317		
	2	活動指標	OAフロアの補修	目標			190	㎡
				実績				
	3	活動指標	フロア案内表示の増設	目標			1	箇所
				実績				
	4			目標				
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化			
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 26 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成29年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		・平成26年度に壁紙張替が予定どおり完了したため、平成27年度から壁紙張替を行っていません。 ・平成29年度に、新たに区役所2・3階のOAフロア補修、2階市民広場側入口のフロア案内表示設置を行います。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	来庁者にとって明るく安全で快適な場所にすることが出来るため、ニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	事業を実施した部分については、以前より来庁者にとって明るく安全で快適な場所になっております。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	床材の仕様変更等による経費削減を検討していきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	床材の仕様変更等による経費削減を検討しつつ、事業を継続することが適切であると考えられます。 施設の劣化状況や来庁者及び職員の意見を参考に、取組の見直し(追加等)を検討します。

# 平成28年度 地域課題対応事業評価シート(宮前区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	06	26	05	30	地域情報発信事業			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			691650		まちづくり推進部企画課		古泉	65121	

## 事業の概要

事業の概要	地域への愛着や関心を高めるため、地域のイベントや伝統行事、様々な地域資源を盛り込んだ冊子等による情報発信を行います。さらに、ガイドマップを発行し、区内の主要施設・防災拠点等の基礎情報の周知と共に、区の魅力発信を行います。また、「宮前兄妹」(2012年度誕生)など区の魅力をアピールするイメージキャラクターや、町内会・自治会への回覧物の一括配送の仕組みを効果的に運用していきます。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業			
地域の課題と現状	地域社会における住民相互の関係が希薄化する中、住民が地域に関心を持ち、自ら参加していくためには、さまざまなメディアの活用による効果的な情報発信が必要です。イベントや伝統行事など地域で行われている活動や、区が実施している取組は数多くありますが、それを知る手段が少なく、区民会議においてこの課題について議論・提案が行われた経過があります。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,522	3,183	3,421	3,127	5,285	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
	その他特財	48	120	120	410	80	
	一般財源	3,474	3,063	3,301	2,717	5,205	

## 計画 (Plan)

事業の目的	地域資源を掘り起こし、その魅力を発信することで、区民の地域への愛着や関心を高め、地域活動への参加を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	みやまえガイドマップの改訂・発行、転入者向け冊子「ぐるっとみやまえ」の改訂・発行、回覧物一括配送、PRキャラクター(宮前兄妹)の貸出

## 実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	ガイドマップの発行、区民が取材・執筆から関わる「ぐるっとみやまえ」の改訂・発行を行い区内の各施設へ配架したほか、来庁者の目にふれやすいよう、区役所内に区の刊行物をまとめたコーナーを作り、効果的な情報発信につとめました。また、区のPRキャラクターは、地域の様々なイベントで活用され、区民に浸透しています。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	目標				
		実績				
	2	目標				
		実績				
3	目標					
	実績					
4	目標					
	実績					

## 評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	インターネットが普及し、様々な情報媒体が存在する中で、効果的な情報発信のあり方を検討して行く必要があります。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 27 年度 ■ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	様々な情報媒体があるなかで、情報発信のあり方を整理し、平成27年度末で「歳時記みやまえ」を廃止しました。今後も、既存の刊行物等について、効果的な情報発信のあり方を検討しつつ整理して行きます。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民一人ひとりが地域への愛着・関心を持つことが、地域の様々な課題を解決して行く糸口となることから、地域の活動や魅力的な地域資源の情報を発信していく必要性は、ますます高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	刊行物の配架方法を見直した結果、手に取る区民が確実に増えています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	広報媒体への広告募集・掲載を増やすことにより、さらなる歳入を得る可能性があります。	

## 改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	様々な広報媒体を効果的に組み合わせて、今後とも情報発信に取り組んで行きます。